

平成30年度

# 北海道立旭川美術館

ANNUAL REPORT OF HOKKAIDO ASAHIKAWA MUSEUM OF ART

April, 2018 – March, 2019

## 年報

# 目次

1 活動方針.....	1
2 平成 30 年度の活動概要.....	2
3 事業日誌.....	3
4 展覧会事業	
特別展・所蔵品展一覧.....	4
4-1 特別展	
魂を剝く美が欲しい―魯山人の宇宙.....	5
ユニマットコレクション―フランス近代絵画と珠玉のラリック～やすらぎの美を求めて～.....	12
描かれた女たち.....	20
NATURE & ART 木をめぐる美術.....	26
探検!?美術館.....	32
4-2 所蔵品展	
姿／Figure―かたちの思惑.....	36
感じるアート―イロ・カタチ・ココロ.....	36
5 教育普及事業	
ワークショップ等.....	39
連携事業.....	40
ボランティア活動.....	41
協力事業.....	41
6 美術作品の収集.....	42
作品目録.....	44
7 美術作品の修復・貸出.....	45
8 資料・情報.....	47
9 利用者数一覧等	
平成 30 年度観覧者数一覧.....	50
平成 30 年度教育普及事業実施状況・利用者数一覧.....	51
平成 30 年度予算・名簿.....	54
沿革.....	55
建築設備概要.....	56
利用案内.....	57

# 1 活動方針

道北地域における文化活動の拠点として、幅広く美術文化を紹介・普及することにより、地域文化に潤いと深みをもたらし、文化創造への活力を高める。

## A すぐれた作品の収集と保管

旭川を中心とした道北地域にゆかりのあるすぐれた作品及び木を素材とした造形作品を系統的に収集、保存する。

## B 多彩で特色ある展示活動の充実

当館の所蔵品及び国内外のすぐれた作品をさまざまな角度から紹介する展覧会を企画・実施する。また、他の道立美術館との連携のもとに、その所蔵品を紹介する。

## C 豊かな人間性を育む学習の場と美術情報の提供

講演会、講座、解説、教員のための鑑賞研修、子ども向け事業等の教育普及活動及び美術に関する情報提供等の事業を推進し、地域の美術文化の振興を図る。

## D 活動の基礎となる調査研究の推進

主として「道北の美術」及び「木の造形作品」についての調査研究を行う。また、美術館活動についての研究を行う。

## E 地域文化の振興

地域の他の美術館、博物館等との連携を図り、地域文化の活性化に努める。

## F 良好な滞在環境の提供

美術鑑賞にふさわしく落ち着いた文化的環境を維持・提供する。

## 2 平成 30 年度の活動概要

### ■近代フランスと近現代の日本の美術を中心に

平成 30 年度も古今東西の幅広い美術を取り上げて展観した。特別展では、北大路魯山人を紹介する「魯山人の宇宙」展にはじまり、近代フランスの絵画とアール・デコのガラス工芸を展観する「ユニマットコレクション」展、近代日本の美術のうち洋画中心で女性をテーマにした「描かれた女たち」展を開催し、いずれも多くの方を集めた。こうした特別展の開催と並行して、第 2 展示室では、人間像に焦点をあてた「姿/Figures」展、抽象絵画を中心とした「感じるアト・イロ・カタチ・ココロ」展の 2 本の展覧会を開催した。

### ■アートギャラリー北海道

平成 30 年度から北海道教育委員会は、北海道内の美術館、文化施設等が連携し、それぞれの施設や所蔵品を相互に紹介し、「美術館を行き交う人々があふれ、北海道全体がアートの舞台となる」ことを目指す「アートギャラリー北海道」事業に取り組んでいる。当館では、展覧会事業として、本年度は「NATURE&ART 木をめぐる美術」展を開催し、所蔵する木の造形作品とともに、全国的にも高く評価されつつある砂澤ビッキ（1931-89）の作品を、連携館である札幌芸術の森美術館と音威子府村のエコミュージアムおさしまセンター（砂澤ビッキ記念館）から借用し展示した。また、「探検!?美術館」展でも当麻町のかたるべの森美術館の協力により、知的障害者の作品を展覧会場の一部に展示した。

### ■コレクションを活用した冬季の子ども向け展覧会

旭川市周辺地域は降雪も多く、翌春まで厳寒期が長く続く。こうした時期の美術館利用を促進するため、近年、冬季に、子どもから大人まで楽しめる展覧会を企画している。「アート・クイズ・ギャラリー」展(前年度から継続)、「探検!?美術館」展(次年度に継続)の 2 つの展覧会を開催した。「探検!?美術館」展では、当館コレクションより木の造形と北海道ゆかりの絵画作品などを展示。あわせて作業に使う道具を展示したほか、工作のコーナーを設け、未就学児童でも親子で楽しめるよう工夫した。

### ■10 年目を迎えた旭川地域連携アートプロジェクト

「旭川地域連携アートプロジェクト」(AAP) は、上川旭川中学校美術部連携協議会、北海道教育大学旭川校、当館と旭川市彫刻美術館による地域連携事業で、10 年目を迎えた。本年度は「魯山人の宇宙」展を舞台に、大学スタッフと協同して、上川管内の中学校美術部の生徒を対象に展覧会鑑賞とワークショップによる「鑑賞プログラム」を実施し 491 名の生徒が参加した。また同プログラムは、ワークショップの立案と実施の主体となる教育大学の学生にとっても、実践的教育活動を体験する貴重な事業ともなっている。

### ■作品収集

平成 30 年度は、個人所蔵家、作家等から 4 点の作品の寄贈を受けた。「道北の美術」の作品として旭川画壇の形成期に活動した秋田義一の油彩画を初めて収蔵。「木の造形」では函館出身の岡沼淳一、現代木彫の旗手の一人神山明の作品がコレクションに加わった。また両方の収集方針に関わる「君の椅子」の 14 点目加わり、当館所蔵の総作品数は、700 点となった。

### 3 事業日誌

月日	事業内容
2. 6(火)～ 4.15(日)	「アート・クイズ・ギャラリー」展(第1展示室)
11. 1(水)～ 4.15(日)	「HOKKAIDO 北の美術セレクション」展(第2展示室)
4.26(木)～ 7.1(日)	「魂を削る美が欲しい 魯山人の宇宙」展(第1展示室)
4.26(木)～11.7(水)	「姿／Figure—かたちの思惑」展(第2展示室)
4.28(土)、5.12(土)、6.9(土)、6.23(土)	「魂を削る美が欲しい 魯山人の宇宙」展 30分でわかる！見どころ解説(講堂)
5.5(土)、5.26(土)	「北大路魯山人・入門講座」(講堂)
4.28(土)	教員のための「魂を削る美が欲しい 魯山人の宇宙」展 鑑賞研修(講堂、第1展示室)
7.12(木)～ 9.2(日)	「ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック」(第1展示室)
7.14(土)、8.25(土)	「ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック」展 30分でわかる！見どころ解説(講堂)
7.21(土)	「ミュージアムコンサート」(ロビー)
7.28(土)、8.4(土)	[美術講座]「フランス近代美術の魅力 アカデミズムからエコール・パリへ」(講堂)
7.26(木)～ 8.5(日)	夏休み工作アトリエ2018(ロビー)
9.13(木)～11.7(水)	「描かれた女たち 女性像にみるフォルム/現実/夢」(第1展示室)
9.13(木)	「オープニング記念ギャラリーツアー」
10. 6(土)	「美術講座」(講堂)
9.15(土)、10.27(土)	「ギャラリー・ツアー」(第1展示室)
9.22(土)、10.14(日)、11.3(土・祝)	「ミュージアム・コンサート マンドリンとギターのひとつ」(ロビー)
9.29(土)	「記念茶会」(ロビー)
10. 2(火)、11.2(金)	「マダム・ケロコのトーク・ショー」(第1展示室)
9.29(土)	教員のための「描かれた女たち 女性像にみるフォルム/現実/夢」展 鑑賞研修(講堂、第1展示室)
11.14(水)～ 1.14(月)	「北海道150年事業/アートギャラリー北海道 NATURE&ART 木をめぐる美術」展(第1展示室)
11.14(水)～ 4.17(水)	「感じるアートーイロ・カタチ・ココロ」展(第2展示室)
11.14(水)	「オープニング記念ギャラリートーク」(第1展示室)
11.17(土)	「ロビーコンサート 道銀文化財団 Art Ensemble #8 北海道立旭川美術館コンサート」展(ロビー)
11.18(日)、12.16(日)、1.13(日)	「上映会「オトイネップタワー物語」」(講堂)
11.24(土)	講演会「音威子府と砂澤ビッキ」(講堂)
12.8(土)、12.15(土)	「北海道教育大学旭川校連携ギャラリートーク」(第1展示室)
1.5(土)	「新春ギャラリートーク」(第1展示室)
1.9(水)	ウッディ★工作アトリエ(講堂、第1展示室、第2展示室)
2.22(金)～ 4.17(水)	「探検!?美術館」展(第1展示室)
3.2(土)	「子どもも大人も楽しむリコーダー・ミニコンサート」(ロビー)
3.30(土)、3.31(日)	「みんなで探検ツアー」(ボイラー室、荷解き室、第1展示室)
3.2(土)	教員のための「探検!?美術館」展 鑑賞研修(講堂、第1展示室)

## 4 展覧会事業

### ■特別展・所蔵品展一覧

	展覧会名	開催期間	開催日数	主催	会場
特 別 展	240 アート・クイズ・ギャラリー	2月6日(火) ～4月15日(日)	60日間 (うち30年度は13日間)	北海道立旭川美術館、 北海道新聞社	第1展示室
	241 魂を扶る美が欲しい 魯山人の宇宙	4月26日(木) ～7月1日(日)	58日間	北海道立旭川美術館、 北海道新聞社	第1展示室
	242 ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリッ ク展	7月12日(木) ～9月2日(日)	47日間	北海道立旭川美術館、北 海道新聞社	第1展示室
	243 描かれた女たち 女性像にみるフォルム／現実／夢	9月13日(木) ～11月7日(水)	49日間	北海道立旭川美術館、描かれた 女たち展旭川市民実行委員会、 北海道新聞社	第1展示室
	244 北海道150年記念事業 NATURE & ART 木をめぐる美 術	11月14日(水) ～1月14日(月)	49日間	北海道立旭川美術館、 北海道新聞社	第1展示室
	245 探検!?美術館	2月22日(金) ～4月17日(水)	47日間 (うち30年度は33日間)	北海道立旭川美術館、 北海道新聞社	第1展示室

所 蔵 品 展	78 HOKKAIDO 北の美術セレクション	11月1日(水) ～4月15日(日)	121日間 (うち30年度は13日間)	北海道立旭川美術館	第2展示室
	79 姿／Figure—かたちの思惑	4月26日(木) ～11月7日(水)	154日間	北海道立旭川美術館	第2展示室
	80 感じるアート—イロ・カタチ・ココロ	11月14日(水) ～4月17日(水)	102日間 (うち30年度は88日間)	北海道立旭川美術館	第2展示室

## 4-1 特別展

魂を削る美が欲しい

### 魯山人の宇宙

Rosanjin Kitaoji Exhibition: Ceramic Art

**会 期**：4月26日（木）～7月1日（日）

**主 催**：北海道立旭川美術館、北海道新聞社

**協 力**：公益財団法人 日動美術財団

本展では、陶芸や書、絵画、漆芸などの幅広い分野において、伝統に深く学びつつも、斬新で個性的な作品を生み出した芸術家として知られる北大路魯山人（1883-1959、京都府出身）の芸術世界を紹介した。

アメリカ、サンディエゴから里帰りした、ほとんど未使用の32点に及ぶカワシマ・コレクションを含む笠間日動美術館コレクションを一堂に公開、さらに魯山人旧邸「春風萬里荘」に併設された自身設計による茶室「夢境庵」も部分再現し、魯山人の芸術世界＝宇宙を体感いただいた。

旭川市及び近郊は陶芸を含めた工芸の盛んな地域でもあり、技法や表現に興味を持って鑑賞いただくよい機会となり、7,002人の来場者を迎えることができた。

#### ■展示構成

I 章 カワシマ・コレクション

II 章 茶室「夢境庵」部分再現

III 章 備前、織部、瀬戸、志野・・・魯山人の陶芸と書画の世界

#### ■関連事業

**[北大路魯山人・入門講座]**

**5月5日(土)、5月26日(土) 各日午後2時～(約60分)**

講 師：門間仁史（当館学芸員）

会 場：講堂

参加者数：42人、19人

（自由参加、聴講無料）

### **[30分でわかる！学芸員の見どころ解説]**

会 場：講堂

(自由参加、聴講無料)



**4月28日(土) 午後2時～(約30分)**

講 師：関口千代絵 (当館学芸員)

参加者数：45人



**5月12日(土) 午後2時～(約30分)**

講 師：関口千代絵 (当館学芸員)

参加者数：21人



**6月9日(土) 午後2時～(約30分)**

講 師：関口千代絵 (当館学芸員)

参加者数：30人



**6月23日(土) 午後2時～(約30分)**

講 師：門間仁史 (当館学芸員)

参加者数：11人

### **[教員のための鑑賞研修]**

**4月28日(土) 午後2時～(約30分)**

講 師：関口千代絵 (当館学芸員)

会 場：講堂、第1展示室

参加者数：13人

(募集制、参加無料)

### **[オリエンテーション]**

(希望団体対象の解説、予約制、無料)

講 師：学芸員

会 場：講堂

実施回数：4回

参加者数：92人

### **[旭川地域連携アートプロジェクト鑑賞プログラム]**

詳細は連携事業(p.40)を参照。



### ■主な新聞記事等

北海道新聞 4/4(社告) 4/26 4/26(夕) 4/27 6/17 6/22

ななかまど 4/6

北海道通信 4/10 5/10 6/14 6/26

### ■広報印刷物

ポスター：B2 縦、OK トップコートマット N 四六判 135kg、片面 4 色、1,450 枚

チ ラ シ：A4 縦、OK トップコートマット N 四六判 110kg、両面 4 色、20,000 枚

観 覧 券：縦 140×横 60mm（招待券 160×65mm）、OK トップコートマット N 四六判 90kg、片面 4 色、  
13,800 枚

デザイン：佐藤守功デザイン事務所

製 作：株式会社総北海

## 魂を割る美が欲しい 魯山人の宇宙 出品目録

No.	作家名	作品名	技法・材質	寸法 (cm)
<b>I カワシマ・コレクション</b>				
1	北大路魯山人	そめつけ鳥絵花入 1点	磁器	30.5×23.0
2	北大路魯山人	色絵糸巻皿 5客	陶器	2.8×15.5×15.5
3	北大路魯山人	志野長方皿 5客	陶器	4.0×23.0×12.0
4	北大路魯山人	そめつけ刻書鉢 1点	磁器	10.2×20.4
5	北大路魯山人	染付方鉢 満地清風 1点	磁器	10.5×23.0×23.0
6	北大路魯山人	そめつけ竹鉢 1点	磁器	10.5×21.5
7	北大路魯山人	染付赤絵海老文鉢 1点	磁器	9.5×21.9
8	北大路魯山人	信楽花入 1点	陶器	25.4×20.9
9	北大路魯山人	備前緋襷四方皿 2客	炆器	2.7×21.0×21.0
10	北大路魯山人	小代風台鉢 1点	陶器	8.5×28.5
11	北大路魯山人	九谷風鉢 1点	磁器	11.5×37.5
12	北大路魯山人	於里遍草彫四方鉢 1点	陶器	5.2×28.7×28.0
13	北大路魯山人	於り遍鉢 1点	陶器	8.2×22.0
14	北大路魯山人	織部菊文蓋付碗 5客	陶器	6.7×14.0
15	北大路魯山人	そめつけ福字平向 5客	磁器	2.3×21.3
16	北大路魯山人	そめつけ向つけ 5客	磁器	9.0×7.5
17	北大路魯山人	絵瀬戸土瓶 1点	陶器	11.5×15.5
18	北大路魯山人	織部土瓶 1点	陶器	15.5×15.0
19	北大路魯山人	をり遍升鉢 1点	陶器	10.2×21.0×21.0
20	北大路魯山人	織部風マス鉢 1点	陶器	11.0×21.0×21.0
21	北大路魯山人	総織部櫛目寿文扇面鉢 1点	陶器	7.2×30.1×25.9
22	北大路魯山人	この葉平向 5客	陶器	3.2×19.0
23	北大路魯山人	於里遍分銅向 6客	陶器	8.0×6.0×6.0
24	北大路魯山人	三島手小鉢 1点	陶器	7.8×20.0
25	北大路魯山人	色絵醬油注 2客	磁器	7.0×7.5
26	北大路魯山人	赤呉須黒筋徳利	磁器	12.0×8.0
<b>II 茶室「夢境庵」部分再現</b>				
27	北大路魯山人	富士樹海図 1点	紙本墨画	27.0×24.0
28	北大路魯山人	備前竹一重切花入 1点	炆器	29.0×13.5
29	北大路魯山人	辰砂竹雀俎鉢 1点	陶器	5.5×46.3×22.0

30	北大路魯山人	ハケ目茶碗 1点	陶器	9.5×11.3
31	北大路魯山人	鉄絵円窓文茶碗 1点	陶器	6.9×10.7

### Ⅲ 備前、織部、瀬戸、志野・・魯山人の陶芸と書画の世界

32	北大路魯山人	備前四方長皿 1点	炆器	3.8×45.4×24.7	
33	北大路魯山人	備前牡丹餅文長方小皿 16客	炆器	2.8×21.5×8.7	
34	北大路魯山人	備前手桶形花入 1点	炆器	23.7×12.5	
35	北大路魯山人	織部花器 1点	陶器	25.0×22.1	
36	北大路魯山人	染付詩文電気スタンド 1点	磁器	60.0×31.0	
37	北大路魯山人	織部電気スタンド 1点	陶器	63.0×19.0	
38	北大路魯山人	織部扇面鉢 1点	陶器	7.0×28.0×25.0	
39	北大路魯山人	織部刻文四方皿	陶器	3.0×20.4×20.5	
40	北大路魯山人	総織部大鉢 1点	陶器	18.5×41.4	
41	北大路魯山人	織部土瓶 1点	陶器	16.3×20.0×13.8	
42	北大路魯山人	青織部灰器 1点	陶器	6.0×9.3×9.0	
43	北大路魯山人	織部櫛目灰器	陶器	7.8×11.5×11.5	
44	北大路魯山人	黄瀬戸菊皿 5客	陶器	2.0×17.5	カワシマ・コレクション
45	北大路魯山人	黄瀬戸瓶子扁壺 2点	陶器	20.0×20.3×12.6	
46	北大路魯山人	竹に雀図 1点	紙本墨画、屏風	55.0×171.0	
47	北大路魯山人	絵志野雪笹小皿 6点	陶器	2.1×12.0	
48	北大路魯山人	辰砂土瓶	陶器	7.7×11.5×10	
49	北大路魯山人	志野紅葉絵皿(竜田川) 1点	陶器	2.0×20.0×20.0	
50	北大路魯山人	乾山風 松絵皿	陶器	16.0×16.0	
51	北大路魯山人	織部釉大平鉢(丸形)	陶器	8.0×28.5×28.5	
52	北大路魯山人	絵瀬戸平向付 6客	陶器	4.0×18.4	
53	北大路魯山人	伊賀鑄手四方鉢 1点	陶器	5.0×28.5×28.3	
54	北大路魯山人	瀬戸櫛目丸文四方皿 8客	陶器	4.3×16.3×16.6	
55	北大路魯山人	そめつけ鉢 花ト魚	磁器	7.9×19.7	カワシマ・コレクション
56	北大路魯山人	染付菓子皿 5客	磁器	3.5×20.6	
57	北大路魯山人	椿一輪挿図 1点	絹本着色	35.3×32.5	
58	北大路魯山人	秋月図 1点	紙本墨画、金箔	86.0×78.0	
59	北大路魯山人	筆ノ図 1点	絹本着色	27.0×24.0	
60	北大路魯山人	人參図	絹本着色	26.5×23.7	

61	北大路魯山人	魚游於水図 1点	紙本墨画	27.2×24.0	
62	北大路魯山人	洋花絵 1点	紙本墨画	27.0×24.0	
63	北大路魯山人	伊賀小皿 5点	陶器	径12.5	
64	北大路魯山人	紅葉絵鉢(竜田川) 1点	陶器	10.2×20.7	
65	北大路魯山人	毛みち 汲だし	陶器	径9.7×5.8	
66	北大路魯山人	紅葉平向 10客	陶器	3.2×14.5×15.8	カワシマ・コレクション
67	北大路魯山人	九谷風龍安寺平向 2客	陶器	2.2×22.0	カワシマ・コレクション
68	北大路魯山人	果実の図	木版画	36.0×48.0	
69	北大路魯山人	貴人葡萄図	木版画	24.5×22.5	
70	北大路魯山人	信楽砧形花入 1点	陶器	17.6×12.6	
71	北大路魯山人	黄瀬戸出汁入 1点	陶器	15.0×10.5	
72	北大路魯山人	絵瀬戸有平文湯呑 6客	陶器	8.5×7.2	
73	北大路魯山人	黄瀬戸盃(舂)	陶器	4.5×7.0×7.0	
74	北大路魯山人	赤呉須さけのみ 1点	磁器	2.9×4.8	
75	北大路魯山人	赤呉須其楽陶々徳利 2点	陶磁器	13.5×7.0	
76	北大路魯山人	赤絵寿鉢	磁器	9.4×21.6	寄託
77	北大路魯山人	徳里二 さけのみ二	磁器	14.0×8.0/4.0×6.0	
78	北大路魯山人	染付吹墨美菜佳魚大壺 1点	磁器	35.9×28.9	
79	北大路魯山人	大柚子図	水彩	25.5×23.0	
80	北大路魯山人	取土図 景德鎮陶録より	墨、着彩、紙	23.2×35.2	
81	北大路魯山人	濡額 清霊	木、胡粉	29.8×63.2	
82	北大路魯山人	春風萬里	墨、紙	114.0×31.5	
83	北大路魯山人	帰去来	木、胡粉	35.5×87.0×3.0	
84	北大路魯山人	夏草やつはものどもが夢のあと	水彩	13.0×45.5	
85	北大路魯山人	伊賀釉四方平鉢(シノギ)	陶器	28.5×29.0×4.5	
86	北大路魯山人	染付詩文電気スタンド 1点	磁器	54.0×23.0	
87	北大路魯山人	朱漆桐花文大長方卓 1点	漆、木	30.0×181.5×90.5	
88	北大路魯山人	白萩釉鉢 2客	陶器	8.6×17.8	カワシマ・コレクション
89	北大路魯山人	伊賀四方皿/伊賀鑄手四方皿 2点	陶器	3.7×21.1×21.5	
90	北大路魯山人	吸坂平向 1点	陶器	2.0×21.5	
91	北大路魯山人	はけめ 吉祥鉢	陶器	8.0×19.5	
92	北大路魯山人	鉄絵草文平向付 8客	陶器	3.6×18.8	

93	北大路魯山人	碧玉釉カブト鉢 1点	陶器	8.5×22.5	カワシマ・コレクション
94	北大路魯山人	柿南京丸皿 2客	陶器	2.7×22.6	
95	北大路魯山人	瀬戸摺鉢文向付 11客	陶器	4.3×13.5	

---

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では高さ×幅×奥行、あるいは高さ×径

※作品はすべて笠間日動美術館蔵

ユニマツトコレクション

## フランス近代絵画と珠玉のラリック展

～やすらぎの美を求めて～

Modern French Paintings and Masterpieces of Lalique Glasswork

会 期：平成 30 年 7 月 12 日（木）～9 月 2 日（日）

主 催：北海道立旭川美術館、北海道新聞旭川支社

本展はオフィスコーヒーや介護、リゾート開発など幅広く事業を展開しているユニマツトグループのコレクションを一挙に公開する全国初の巡回展として開催された。ユニマツトコレクションは、コロ、ミレー、ルノワールなど 19 世紀後半に花開いたバルビゾン派や印象派から、ドラン、藤田嗣治などに代表される 20 世紀初頭のエコール・ド・パリに至るまでの、フランス近代絵画を代表する画家たちの作品を網羅する。本展ではそれらに加えて、アール・デコを代表する工芸家ルネ・ラリックのガラスの作品をあわせて展示。47 作家の 96 点を選びすぎり、フランス近代美術の精華を紹介した。関連事業では札幌交響楽団のコンサートマスター・大平まゆみ氏によるロビーコンサートも開催して好評を得、会期中の観覧者は 11,681 人にのぼった。

### ■展示構成

- 第 1 章 バルビゾン派の画家たち —自然への憧憬—
- 第 2 章 アカデミズムから印象派へ —伝統と革新—
- 第 3 章 エコール・ド・パリの画家たち —都市の詩情と憂愁—
- 第 4 章 アール・デコのきらめき —ルネ・ラリックのガラス工芸—

### ■関連事業

#### [美術講座]

「フランス近代美術の魅力 アカデミズムからエコール・ド・パリへ」

会 場：講堂

(自由参加、聴講無料)



7 月 28 日(土) 午後 2 時～(約 60 分)

講 師：関口千代絵 (学芸員)

参加者数：32 人



8月4日(土) 午後2時～(約60分)

講師：関口千代絵(学芸員)

参加人数：25人

[30分でわかる!見どころ解説]

会場：講堂

(自由参加、聴講無料)



7月14日(土) 午後2時～(約30分)

講師：門間仁史(学芸員)

会場：講堂

参加者数：20人



8月25日(土) 午後2時～(約30分)

講師：門間仁史(学芸員)

会場：講堂

参加者数：60人

[オリエンテーション]

(希望団体対象の解説、予約制、無料)

講師：学芸員

会場：講堂

実施回数：8回

参加人数：191人

[ワークシート]

展示会場内にクイズ形式で鑑賞を補助するワークシートを設置した。

会場：第1展示室

(自由参加 無料)

[ミュージアム・コンサート]

7月21日(土) 午後2時～(約30分)

出演：大平まゆみ氏(札幌公共楽団コンサートマスター)

会場：ロビー

(自由参加 無料)

参加者数：130人

#### ■主な新聞記事等

北海道新聞 4/27(社告) 7/7 7/12 7/13 7/24  
7/24~7/31 (門間仁史、関口千代絵による作品解説の連載),  
8/11 8/18 9/1  
北海道通信 4/10 7/24 8/30

#### ■広報印刷物

ポスター：B2 縦、マット 135kg、片面カラー、1,552 枚  
チ ラ シ：A4、マット 90kg、両面カラー、52,200 枚  
観 覧 券：縦 160×横 7mm、マット 90kg、片面カラー、49,730 枚  
デザイン：三善デザイン事務所  
製 作：山藤三陽印刷株式会社



## ユニマットコレクション

### フランス近代絵画と珠玉のラリック展—やすらぎの美を求めて— 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
<b>第1章 く バルビゾン派の画家たち —自然への憧憬— 〉</b>				
1	ジャン=バティスタ・カミーユ・コロ	ノートルダム近くの城壁跡	1854	油彩/キャンバス
2	ジャン=バティスタ・カミーユ・コロ	農家の娘たち	1845—1855	油彩/キャンバス
3	ジャン=バティスタ・カミーユ・コロ	ジュイコットの思い出	1865—1870	油彩/キャンバス
4	ナルシス=ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	樹木のある風景		油彩/板
5	ナルシス=ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	森の空き地		油彩/板
6	コンスタン・トロワイヨン	牧羊犬と羊		油彩/キャンバス
7	コンスタン・トロワイヨン	羊飼い		油彩/キャンバス
8	ジュール・デュブレ	沼地の牛		油彩/キャンバス
9	テオドール・ルソー	夕暮れ		油彩/キャンバス
10	テオドール・ルソー	フォンテーヌブローの森	1855—1858	油彩/キャンバス
11	ジャン=フランソワ・ミレー	洗濯物を干す女	1854—1856	油彩/板
12	エミール=シャルル・ランビネ	川の風景	1877	油彩/キャンバス
13	レオン=ヴィクトール・デュブレ	湿地	1854	油彩/キャンバス
14	シャルル=フランソワ・ドービニー	浜辺の牛	1874	油彩/キャンバス
15	ル・シュヴァリエ・アルフレッド・クニッフ	森はずれの牧草地		油彩/キャンバス
16	アンリ=ジョセフ・アルピニー	川のほとり	1904	油彩/キャンバス
17	アレクサンドル・ドゥフォー	養鶏場の春		油彩/キャンバス
18	ルイ=エメ・ジャピー	川のある風景		油彩/キャンバス
19	イポリット・カミーユ・デルピー	ヨンヌ近くの岸边		油彩/板

20	マリー=ヴィクトール=エミール・イゼンバール	洗濯場		油彩/キャンバス
21	マリー=ヴィクトール=エミール・イゼンバール	農場の風景		油彩/板
22	ウジェーヌ・アントワーヌ=サミュエル・ラヴィエイユ	花咲く木のある風景	1873	油彩/キャンバス
23	レオン・リシェ	沼のある風景		油彩/キャンバス
24	ピエール・エマニュエル・ダモア	早春	1888	油彩/キャンバス
25	ピエール・エマニュエル・ダモア	農場の入口	1893	油彩/キャンバス
26	アルベール・ガブリエル・リゴロ	ソローニュの霧氷	1896	油彩/キャンバス
27	レオン・ジュベール	城壁都市の眺め		油彩/キャンバス

## 第2章 く アカデミズムから印象派へ —伝統と革新— 〉

28	セバステイアン・ブルドン	スザンヌと長老たち		油彩/キャンバス
29	フランソワ・ブーシェ	勝利のクピド		油彩/キャンバス
30	ジャック=ルイ・ダヴィッド	ベリサリウスと子供	1780頃	油彩/キャンバス
31	ウジェーヌ・ドラクロワ	フォンテーヌブローのクリスティーヌ	1844頃	油彩/キャンバス
32	ジャン・バティスト・カミーユ・コロロー	愛の秘密	1855-1856	油彩/キャンバス
33	ナルシス=ヴィルジル・ディアズ・ド・ラ・ペーニャ	クピドから矢をとりあげるヴィー	1855	油彩/キャンバス
34	ジャン=フランソワ・ミレー	フェリックス=ピアネメ・ファルダンの肖像	1841	油彩/キャンバス
35	ジャン=フランソワ・ミレー	犬を抱いた少女	1844-1845	油彩/キャンバス
36	ジャン=フランソワ・ミレー	眠れるニンフとサテュロス	1846-1847	油彩/キャンバス
37	ギュスターヴ・クールベ	雪の断崖	1870	油彩/キャンバス
38	ジャン=ジャック・エンネル	横たわる裸婦		油彩/キャンバス
39	ジャン=ジャック・エンネル	マグダラのマリア		油彩/キャンバス
40	エマニュエル・ミシェル・ベンネル	森の中の裸婦	1880	油彩/キャンバス

41	アンリ・ファンタ ン＝ラトゥール	オンディーヌ	1880頃	油彩/キャンバス
42	レオン・リシェ	婦人の肖像		油彩/キャンバス
43	エドガー・ドガ	4人の踊り子たち	1892-95	パステル/紙
44	エドガー・ドガ	ルイ・ルアール夫妻の肖像のための 習作	1904	パステル/カルトン
45	ピエール＝オー ギュスト・ルノ ワール	花束	1877	油彩/板
46	ピエール＝オー ギュスト・ルノ ワール	母と子（アリーヌと息子ピエー ル）素描	1885頃	鉛筆/紙
47	ピエール＝オー ギュスト・ルノ ワール	母子像（アリーヌと息子ピエー ル）	1886	油彩/キャンバス
48	ピエール＝オー ギュスト・ルノ ワール	髪を結う少女	1896	油彩/キャンバス
49	ピエール＝オー ギュスト・ルノ ワール	泉（横たわる裸婦）	1905	油彩/キャンバス

### 第3章 く エコール・ド・パリの画家たち —都市の詩情と憂愁— 〉

50	アンリ・ド・ トゥールーズ＝ ロートレック	メイ・ベルフォート嬢	1895	グアッシュ/カルトン
51	ラウル・デュフィ	モーツァルト	1915	油彩/キャンバス
52	ラウル・デュフィ	ルーディネスコ夫人の肖像	1934	油彩/キャンバス
53	ラウル・デュフィ	ルーディネスコ夫人の肖像 習作	1934頃	鉛筆/紙
54	モーリス・ユトリ ロ	バニユーの教会	1925	油彩/キャンバス
55	カミーユ・ボンボ ワ	伝馬船を曳く馬	1928	油彩/キャンバス
56	カミーユ・ボンボ ワ	醸造所に見える風景	1930頃	油彩/キャンバス
57	カミーユ・ボンボ ワ	森の下草	1930頃	油彩/キャンバス
58	カミーユ・ボンボ ワ	サン＝キュキュファの池	1930頃	油彩/キャンバス
59	アメデオ・モディ リアーニ	ルニア・チェホフスカの肖像	1919	油彩/カルトン
60	ジョルジュ＝アン リ・ルオー	聖書による風景		油彩/板
61	キース・ヴァン・ ドンゲン	婦人の肖像		油彩/キャンバス
62	アンドレ・ドラ ン	肩脱ぎの女	1928-29	油彩/キャンバス
63	アンドレ・ドラ ン	バラ	1930	油彩/キャンバス
64	アンドレ・ドラ ン	女性像	1934-39	油彩/キャンバス

65	アンドレ・ドラン	ベールをかぶった女性の肖像	1913頃	鉛筆/紙
68	藤田嗣治	横たわる裸婦 (ユキ)	1924	油彩/キャンバス
69	藤田嗣治	2人の裸婦	1926	油彩/キャンバス
70	藤田嗣治	横たわる裸婦 (マドレーヌ)	1932	油彩/絹
71	藤田嗣治	立てる裸婦	1934	ペン・インク・墨/紙
72	藤田嗣治	猫	1939	墨・彩色/絹
73	シャイム・スー ティン	ブルターニュの婦人		油彩/カルトン

#### 第4章 く アール・デコのきらめき —ルネ・ラリックのガラス工芸— 》

74	ルネ・ラリック	蓋物 4匹のスカラベ	1911	色ガラス、プレス成形、フロスト、パチネ
75	ルネ・ラリック	香水瓶 バラの形の女性像	1912	無色ガラス、プレス成形、フロスト、パチネ
76	ルネ・ラリック	蓋物 戯れるキューピッド	1919	無色ガラス、プレス成形、フロスト、パチネ
77	ルネ・ラリック	蓋物 白鳥	1919	無色ガラス、プレス成形、フロスト、パチネ
78	ルネ・ラリック	香水瓶 アンフィトリテ (海の女神)	1920	本体：色ガラス、型吹き成形、フロスト 栓部：色ガラス、プレス成形、フロスト
79	ルネ・ラリック	蓋物 ウブ	1921	オパールセントガラス、プレス成形
80	ルネ・ラリック	蓋物 東京	1921	オパールセントガラス、プレス成形
81	ルネ・ラリック	水差し シレーヌと蛙	1911	本体：無色ガラス、型吹き成形 栓部：無色ガラス、プレス成形
82	ルネ・ラリック	花瓶 バッタ	1913	色ガラス、型吹き成形、パチネ
83	ルネ・ラリック	立像 笛奏者	1919	オパールセントガラス、プレス成形
84	ルネ・ラリック	鉢 シレーヌ (海の精)	1920	無色ガラス、プレス成形、フロスト、パチネ
85	ルネ・ラリック	鉢 シレーヌ	1920	オパールセントガラス、プレス成形
86	ルネ・ラリック	鉢 マルティীগ	1920	色ガラス、オパールセントガラス、プレス成形
87	ルネ・ラリック	水差し 葡萄	1920	本体：無色ガラス、型吹き成形、パチネ 栓部：無色ガラス、プレス成形、パチネ

88	ルネ・ラリック	インク壺 黒イチゴ	1920	本体：オパールセントガラス、プレス成形、パチネ 栓部：オパールセントガラス、プレス成形、パチネ
89	ルネ・ラリック	燭台 カリアチード	1923	無色ガラス、プレス成形、フロスト、パチネ
90	ルネ・ラリック	燭台 カリアチード	1923	無色ガラス、プレス成形、フロスト、パチネ
91	ルネ・ラリック	立像 泉の神ダフネ	1924	透明ガラス、プレス成形、フロスト
92	ルネ・ラリック	立像 スザンヌ	1925	オパールセントガラス、プレス成形、フロスト
93	ルネ・ラリック	置き物（置時計） 昼と夜	1926	色ガラス、プレス成形、フロスト、金属製台座
94	ルネ・ラリック	花瓶 バッカスの巫女たち	1927	オパールセントガラス、プレス成形、フロスト
95	ルネ・ラリック	鉢 天使	1930	オパールセントガラス、プレス成形
96	ルネ・ラリック	水差しグラスセット オレンジ エード/ヤッファ	1931	色ガラス、型吹き成形
97	ルネ・ラリック	花瓶 オルリー	1935	無色ガラス、プレス成形
98	ルネ・ラリック	花瓶 蝶	1936	無色ガラス、プレス成形、パチネ、フロスト

※作品はすべてユニマットグループ蔵

※No.はキャプションおよび図録に記載されているNo.と同一

※作品No.66とNo.67は旭川会場では不出品

# 描かれた女たち

女性像にみるフォルム/現実/夢

Women in the Japanese Modern Art

会 期：9月13日（木）～11月7日（水）

主 催：北海道立旭川美術館、描かれた女たち展旭川市民実行委員会、北海道新聞社

後 援：旭川市、旭川市教育委員会、愛別町教育委員会、上川町教育委員会、鷹栖町教育委員会、  
当麻町教育委員会、美瑛町教育委員会、東川町教育委員会、東神楽町教育委員会、  
比布町教育委員会、NHK旭川放送局、旭川ケーブルテレビ「ポテト」、FMリベール、  
あさひかわ新聞、旭川商工会議所、旭川美術振興会

協 力：公益財団法人 日動美術財団

日本では、明治以降、西洋美術との出会いによって絵画における人体表現が大きくかわった。科学的に対象をとらえることや、陰影法など立体感を表す描法を学んだこと、また、理想的身体像としてのヌードの表現を知り、近代以降、多様な女性像が生み出されてきた。

本展では、近代の藤島武二、萬鉄五郎、梅原龍三郎ら近代絵画の巨匠から、奥谷博、絹谷幸二、中山忠彦ら現役の作家まで76点の女性を描いた絵画を「フォルム」、「現実」、「夢」の3章に分けて紹介、「女性」というテーマの設定によって、近代の巨匠から現役で活躍する作家まで、幅広い時代のさまざまな画家の作品を紹介した。

本展は、旭川市民実行委員会との共催で、関連事業の企画から実施、広報や券売まで幅広い協力によって運営された。会期中には、7,003名の来場者を迎え、好評を博した。

## ■関連事業

[オープニング記念ギャラリー・ツアー]

9月13日(木) 午前10時～(約60分)

講師：長谷川徳七氏（日動画廊社長）、智恵子氏（日動画廊副社長）

会場：第1展示室

参加者数：51人

(自由参加、要観覧券)

[美術講座]

10月6日(土) 午後2時～(約60分)

「アートの中の女たち」

講師：佐藤由美加（学芸課長）

会場：講堂

参加者数：15人

(自由参加、聴講無料)

[ギャラリー・ツアー]

会場：第1展示室

(自由参加、要観覧券)



9月15日(土) 午後2時～(約40分)

講師：佐藤由美加(学芸課長)

参加者数：14人



10月27日(土) 午後2時～(約40分)

講師：佐藤由美加(学芸課長)

参加者数：55人

[ミュージアム・コンサート マンドリンとギターのひととき]

9月22日(土)、10月14日(日)、11月3日(土・祝) 午後2時～(約60分)

出演：高瀬善朗氏、安田敏宏氏

会場：ロビー

参加者数：85人、141人、198人

(自由参加、無料)

[記念茶会]

9月29日(土) 午前10時～午後2時

表千家同門会旭川支部・旭川地区青年部

会場：ロビー

参加者数：260人

(自由参加、茶菓代)

[マダムケロコのトーク・ショー]

会場：第1展示室

(自由参加、要観覧券)



10月2日(火) 午後2時～(約60分)

講師：マダムケロコ(FMリベールパーソナリティ)、佐藤由美加(学芸課長)

参加者数：35人



11月2日(金) 午後18時～(約60分)

講師：マダムケロコ (FMリベラーパーソナリティ)、佐藤由美加 (学芸課長)

参加者数：56人

[教員のための鑑賞研修]

9月29日(土) 午前11時～(約60分)

講師：佐藤由美加 (学芸課長)

会場：講堂、第1展示室

参加者数：4人

(募集制、参加無料)

[オリエンテーション]

(希望団体対象の解説、予約制、無料)

講師：学芸員

会場：講堂

実施回数：3回

参加者数：75人

■主な新聞記事等

北海道新聞 7/21(社告) 9/12 9/14 9/16 9/23

9/19～9/28 (佐藤由美加、門間仁史、関口千代絵による作品解説の連載)

10/2 10/21 10/26 11/2

北海道通信 9/26 10/18 10/19 10/31 11/12

あさひかわ新聞 8/21 10/31

■広報印刷物

ポスター：B2縦、ユーライト 135kg、片面カラー、1,500枚

ポスター：B3縦、ユーライト 110kg、片面カラー、500枚

チラシ：A4縦、ユーライト 90kg、両面カラー、20,000枚

観覧券：(招待券)縦165×横60mm、(一般券)縦185×横60mm、ユーライト90kg、片面カラー、25,000枚

デザイン：三善デザイン事務所

製作：株式会社総北海



## 描かれた女たち 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
<b>1 (フォルム)</b>					
1	藤島武二	裸婦	1930頃	水彩・紙	26.3×19.0
2	岡田三郎助	裸婦	1935	油彩・カンヴァス	40.6×31.6
3	熊谷守一	裸婦	1930-40頃	油彩・板	33.4×24.3
4	萬 鉄五郎	裸婦	1918頃	水彩・紙	38.0×27.5
5	青山熊治	裸婦	1926-29頃	油彩・カンヴァス	90.7×90.7
6	長谷川 昇	裸婦	1947	油彩・カンヴァス	80.0×100.0
7	梅原龍三郎	竹窓裸婦図	1937	油彩・カンヴァス	44.0×31.5
8	安井曾太郎	裸婦	1927頃	油彩・カンヴァス	21.5×26.5
9	寺内萬治郎	裸婦	1960頃	パステル・紙	23.0×35.0
10	木下孝則	裸女 (裸体習作)	1932	油彩・カンヴァス	100.0×65.5
11	矢島堅土	裸女	1935	油彩・カンヴァス	95.0×80.7
12	島あふひ	裸体習作	1925-29頃	油彩・カンヴァス	65.0×50.0
13	宮本三郎	水瓶を持つ裸婦	1955	油彩・カンヴァス	127.1×79.2
14	藤本東一良	裸婦	1951	油彩・カンヴァス	145.8×112.0
15	宮崎 進	T O R S O	1992	ミクストメディア	194.8×130.4
16	鴨居玲	裸婦	1979	油彩・カンヴァス	73.0×60.7
17	松澤茂雄	射光	1981	油彩・カンヴァス	130.0×162.0
18	高塚省吾	紅葉憑き	1986	油彩・カンヴァス	162.0×130.3
19	栗原喜依子	陽炎	1983頃	油彩・カンヴァス	112.1×162.1
20	森本草介	微睡の時	1984	油彩・カンヴァス	91.0×116.5
21	傍島幹司	セルリアンブルーの想い	2002	油彩・カンヴァス	93.0×116.6
<b>夢</b>					
22	藤島武二	婦人像	1927頃	油彩・鉛筆・カルトン	24.5×17.5
23	北 蓮蔵	ハンモック		油彩・カンヴァス	37.6×45.3
24	五味清吉	木花之佐久夜毘賣	1926	油彩・カンヴァス	180.0×175.0
25	田辺 至	裸婦	1952	油彩・カンヴァス	80.5×116.8
26	熊岡美彦	秋果をささげる裸女	1930	油彩・カンヴァス	129.0×98.9
27	草光信成	三保の松原天女像		油彩・カンヴァス	191.0×95.6
28	高島達四郎	裸婦群像 (海女)	1937	油彩・カンヴァス	112.2×195.4
29	東郷青児	ヴァイオレット	1949	油彩・カンヴァス	90.9×72.7

30	野間仁根	森の中	1933	油彩・カンヴァス	73.0×91.0
31	三岸節子	祝祭	1942	油彩・カンヴァス	96.6×146.0
32	古沢岩美	薔薇十字 マドレーヌ	1984	油彩・カンヴァス	162.4×97.5
33	萩 太郎	水	1983	油彩・カンヴァス	116.6×91.2
34	斎藤真一	口紅（化粧）明治の女	1988	油彩・板	33.8×24.5
35	奥谷 博	風生	1991	油彩・カンヴァス	157.0×146.0
36	山本文彦	女に	1981	油彩・カンヴァス	162.5×162.5
37	絹谷幸二	愛うつろい	1987	油彩・カンヴァス	130.5×162.0
38	安達時彦	悠久	1991	油彩・カンヴァス	130.6×162.0
39	渡邊榮一	小さな王國〈クレタ島の砂丘は、恐らく、ミノタウロスの迷宮に続いているのだ。〉	2008	クレパス・紙	45.5×38.0
40	諏訪 敦	Untitled	2012	油彩・カンヴァス	116.7×72.7
41	坂田哲也	由来詩	1984	油彩・カンヴァス	162.0×130.5
42	安元亮祐	未来を語らう	1995	アクリル樹脂・コラージェ・インク	90.8×116.6
43	谷川泰宏	初月夜	1987	油彩・カンヴァス	161.8×97.2

## 特別出品

44	H. マチス	窓辺にすわる女	1919-20頃	油彩・カンヴァス	62.2×50.6
----	--------	---------	----------	----------	-----------

## 2（現実）

45	金山平三	踊り子	1913-15頃	油彩・カンヴァス	27.7×23.9
46	竹久夢二	待てど暮らせど来ぬ人を	1922	絹本彩色・軸装	32.5×35.4
47	斎藤与里	お盆頃（野風呂）	1952	油彩・カンヴァス	131.0×162.0
48	池部 鈞	孫	1932	油彩・カンヴァス	80.2×116
49	長谷川昇	虫干し	1971	油彩・カンヴァス	117.0×80.0
50	北川民次	セトモノ	1965	油彩・カンヴァス	160.3×128.5
51	木下孝則	花嫁像	1964	油彩・カンヴァス	90.4×73.3
52	里見勝蔵	婦人像		油彩・カンヴァス	53.5×45.5
53	碓 伊之助	F 令嬢像	1940	油彩・カンヴァス	115.5×80.8
54	島あふひ	少女像	1920-30頃	油彩・カンヴァス	100.0×73.0
55	林 武	婦人像（扇を持つ）	1929	油彩・カンヴァス	90.9×73.0
56	佐分真	婦人像	1930頃	油彩・板	55.2×45.8

57	野口彌太郎	昆布とり	1958-59	油彩・カンヴァス	97.0×145.5
58	松下春雄	画室にて	1932頃	油彩・カンヴァス	130.5×97.0
59	佐藤敬	母と子	1946	油彩・カンヴァス	65.2×91.0
60	原 精一	H婦人像	1975	油彩・カンヴァス	65.3×45.5
61	福井良之助	H婦人像	1980	油彩・カンヴァス	65.4×53.3
62	松樹路人	ベネチアン・グリーン	1995	油彩・カンヴァス	161.5×92.3
63	大沼映夫	母子像	1980	油彩・カンヴァス	162.0×132.0
64	佐々木豊	裸体と衣装	1980	油彩・カンヴァス	116.7×90.9
65	中山忠彦	婦人像	2006	クレパス・紙	57.3×45.5
66	深澤孝哉	対話	1985	油彩・カンヴァス	162.0×130.5
67	大津英敏	ひとり	1985	油彩・カンヴァス	169.0×162.5
68	櫻井孝美	いくつかの春	1990	油彩・カンヴァス	163.5×194.5
69	田村能里子	陽炎女（かげろうびと）	1984	油彩・カンヴァス	130.0×162.3
70	遠藤彰子	自画像 金曜日の午後	2012	油彩・カンヴァス	45.5×60.6
71	藤井 勉	ななつ	1983	油彩・カンヴァス	117.0×117.0
72	金森宰司	ライフ メトロを待つ	1993	油彩・カンヴァス	130.3×162.1
73	稲垣考二	杏子	1982	油彩・カンヴァス	130.2×162.2
74	今井充俊	Glass	2001	油彩・カンヴァス	90.9×116.7
75	柏本龍太	Sign	2003	油彩・カンヴァス	118.0×92.0
76	渡辺香奈	来日賛歌	2008	油彩・カンヴァス	162.0×162.0

---

北海道 150 年記念事業／アートギャラリー北海道

## NATURE & ART 木をめぐる美術

Nature & Art Creations in Wood

会 期：11 月 14 日(土)～平成 31 年 1 月 14 日(日)

主 催：北海道立旭川美術館、北海道新聞社

協 力：音威子府村

木は、私たちが自然から受け取る重要な恵みのひとつである。とりわけ広大な森林を有する北海道においては、長い歴史をもつアイヌ民族の文化のなかではもちろん、明治以降に発展した工業のなかでも、木は多彩な用途に用いられてきた。

北海道 150 年を記念する事業として開催された本展では、木の造形をコレクションの柱とする当館の所蔵作品を中心に、伝統工芸や家具、クラフトなどの木工芸から、現代美術までの幅広い木の造形を展示し、自然の恵みによって育まれたその技と表現を紹介した。なかでも旭川出身で、大木を用いたダイナミックな造形で全国的にも高く評価される砂澤ビッキ（1931－89）については、札幌芸術の森美術館や音威子府村のエコミュージアムおさしまセンター（砂澤ビッキ記念館）などが所蔵する作品を展覧したほか、昨年度当館が新たに購入した 7 点を初めて一般に公開した。関連イベントでも、砂澤ビッキの関係者による講演会や記録映像の上映を行ったほか、北海道教育大学旭川校との連携ギャラリー・トークにも多くの参加者を集め、会期中の観覧者数は 2,287 人となった。

### ■展示構成

第 1 章 木と生きる ―木工芸の洗練と遊び心―

第 2 章 木と交わる ―音威子府村と砂澤ビッキ―

第 3 章 木に託す ―多様な現代木彫―

### ■関連事業

[オープニング記念ギャラリー・トーク]

11 月 14 日(水) 午前 10 時～(約 40 分)

講 師：砂澤涼子氏(砂澤ビッキ夫人)

聞 き 手：門間仁史(学芸員)

会 場：第 1 展示室

参加人数：45 人

(自由参加、聴講無料)

[ロビーコンサート]

北海道文化財団 Art Ensemble #8 北海道立旭川美術館コンサート

11月17日(土) 午後2時～(約40分)

出演：江口奈々絵氏 川口莉奈氏 濱川まどか氏 (いずれもフルート)

会場：ロビー

参加人数：163人

(自由参加、聴講無料)

[上映会]

「オトイネップタワー物語」

会場：講堂

(自由参加、聴講無料)



11月18日(日) 午後2時～(約40分)

参加者数：10人



12月16日(日) 午後2時～(約30分)

参加者数：10人



1月13日 午後2時～(約30分)

参加人数：5人

[講演会]

「音威子府と砂澤ビッキ」

11月24日(土) 午後2時～(約90分)

講師：河上實氏 (エコミュージアムおさしまセンター名誉館長)

会場：講堂

参加人数：45人

(自由参加、聴講無料)

[北海道教育大学旭川校連携ギャラリー・トーク]

会場：第1展示室

(自由参加、要観覧券)



12月8日(土) 午後2時～(約30分)

講 師：八重樫良二氏（同校教授／デザイン）

参加人数：15人



12月15日（土）午後2時～（約30分）

講 師：岩永啓司氏（同校准教授／彫刻）

参加人数：35人

#### [教員のための鑑賞研修]

12月8日（土）午前11時～（約60分）

講 師：門間仁史（学芸員）

会 場：講堂、第1展示室

参加者数：7人

（募集制、参加無料）

#### [新春ギャラリー・トーク]

1月5日（土）午後2時～（約30分）

講 師：門間仁史（学芸員）

会 場：第1展示室

参加人数：6人

（自由参加、要観覧券）

#### [オリエンテーション]

講 師：学芸員

会 場：講堂

実施回数：7回

参加者数：221人

（希望団体対象の解説、予約制、無料）

#### [特別展示]

北海道おといねっふ美術工芸高等学校 卒業制作展

11月14日（土）～1月14日（日）

会 場：ロビー

（自由観覧、無料）

#### ■主な新聞記事等

北海道新聞 10/6 (社告) 11/14 11/14(夕) 11/15 11/15(夕) 11/22 11/23 11/26 12/3 12/13 12/14  
1/18(季評)

朝日新聞 11/15 11/28(門間仁史による作品解説)

北海道通信 11/12 11/22 12/26

#### ■広報印刷物

ポスター：B2 縦、OK トップコートマットN 135 kg、片面カラー、1,450 枚

チラシ：A4 縦、OK トップコートマットN 110 kg、両面カラー、20,000 枚

観覧券：(招待券) 縦 140×横 65mm、(一般券) 縦 140×横 60mm、OK トップコートマットN 90 kg、片面  
カラー、8,900 枚

デザイン：畠山尚デザイン制作室

製作：中西印刷株式会社

北海道150年／アートギャラリー北海道事業 NATURE & ART 木をめぐる美術 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	所蔵
<b>第1章 木と生きる —木工芸の洗練と遊び心—</b>					
1	須田 桑翠	黒柿小箆筒	1979 (昭和54)	黒柿、クワ	
2	中臺 瑞真	桐手箱	1973 (昭和48)	キリ	
3	横山 幹	神代樺造色紙箱	1992 (平成4)	ケヤキ (埋もれ木)	
4	黒田 辰秋	神代樺彫文飾棚	1974 (昭和49)	ケヤキ (埋もれ木)	
5	大橋 行雄	シジュウカラハコ (小物入)	1987 (昭和62)	シナ	
6	丹野 則雄	薬一ひこばえ	1992 (平成4)	黒柿、ローズウッド、 メープル、ウレタンオ イル塗装／カリン、パ ドック、メープル、ウ レタンオイル塗装	
7	大門 巖	Wood Powder Box	1992 (平成4)	ナラ、キリ、シナ、木 の粉 (ナラ、黒檀、カ リン、タモの埋れ木、 マユミ、ローズウッ ド、パドック、ウォー ルナット)、白木用ウ レタン塗装	
8	中村 錦平	昔、人はハコを木で造って いたらしい	1992 (平成4)	薄板 (経木) /カン ナくず／割り箸、プ ラスチック	
9	荒井 善則	ささげもの (リートフェル ト・地中海の空)	1986 (昭和61)	ナラ、カツラ	
10	中井 啓二郎	1、2がなくて3、4、5、6	1986 (昭和61)	ウォールナット、カリ ン、ニレ、シラカバ、 カバ、ローズウッド等	
11	中井 啓二郎	ワーキング・ストゥール	1983 (昭和58)	クルミ、カバ、ロー ズウッド	
12	高橋 三太郎	AFRICAN PADAUK	1983 (昭和58)	アフリカンパドッ ク、ナラ	
13	吉田 幸男	神秘	1983 (昭和58)	ニレ (埋もれ木)	
14	藤井 忠行	椅子	1983 (昭和58)	クルミ、エンジュ	
15	デザイン：bkm design working group GnbR 制作：榊匠工芸	ビサイド	2006 (平成18)	シナ合板、メープ ル、金属、電球、 <ウレタン塗装仕上 げ>	

**第2章 木と交わる —音威子府村と砂澤ビッキ—**

16	高橋 昭五郎	双水	1985 (昭和60)	カツラ	
17	デイヴィッド・ ナッシュ	十字形に焦がした卵	1994 (平成6)	ナラ	
18	デイヴィッド・ ナッシュ	榛の炬・音威子府	1993 (平成5)	写真	
19	デイヴィッド・ ナッシュ	音威子府 (春、夏、冬 1993-94) プロジェクトの ためのドローイング	1993~94 (平成5~6)	パステル、木炭、 キャンバス、紙	
20	砂澤 ビッキ	神の舌	1980 (昭和55)	ナラ	札幌芸術の森美術館
21	砂澤 ビッキ	鳥の巣 (椅子)	1980 (昭和55)	カツラ、タモ	



22	砂澤	ビッキ	午前3時の玩具	1987 (昭和62)	木	音威子府村
23	砂澤	ビッキ	午前3時の玩具	1987 (昭和62)	木	音威子府村
24	砂澤	ビッキ	四季の面	1988 (昭和63)	ニレ (埋もれ木)、 カツラ、ナラ	
25	砂澤	ビッキ	集吸呼 A	1986 (昭和61)	クルミ、カツラ	
26	砂澤	ビッキ	風の王と王妃	1988 (昭和63)	タモ	
27	砂澤	ビッキ	風の王と王妃	1988 (昭和63)	タモ	
28	砂澤	ビッキ	崑面	1975 (昭和50)	木	個人
29	砂澤	ビッキ	木面	1975 (昭和50) 頃	木	個人
30	砂澤	ビッキ	樹の処女	1985 (昭和60)	木	個人
31	砂澤	ビッキ	TOH	1984 (昭和59)	鉛筆、水彩・紙	
32	砂澤	ビッキ	北の王	1984 (昭和59)	クレヨン、水彩・紙	
33	砂澤	ビッキ	北の王妃	1984 (昭和59)	クレヨン、水彩・紙	
34	砂澤	ビッキ	集吸呼 B	1986 (昭和61)	カツラ、クルミ、ナ ラ	札幌芸術の森美術館
35	砂澤	ビッキ	風に聴く	1986 (昭和61)	アカエゾマツ、カツ ラ	札幌芸術の森美術館
36	江口	週	北方の鳥—砂澤ビッキに捧 ぐ	1989 (平成元)	クス	

### 第3章 木に託す —多様な現代木彫—

37	遠藤	利克	泉	1992 (平成4)	スプルース、鉄、 タール、(火)	
38	戸谷	成雄	山津波	1988 (昭和63)	米ツガ、アクリル絵 具	
39	高田	吉朗	流域の記憶 I	1996 (平成8)	木 (モチなど)、陶	
40	大平	實	起源	1996 (平成8)	合板、ホンジュラ ス・マホガニー、パ テ、ワックス	
41	神山	明	たしか、このあたりだと思 う	1984 (昭和59)	スギ、糸、オイルス テイン	
42	舟越	桂	午後にはガンター・グロー ヴにいる	1988 (昭和63)	クス、大理石、アク リル絵具	
43	土屋	仁応	麒麟	2017 (平成29)	クス、水晶・油彩、 アクリル絵具	

※所蔵は特に記載がないものは当館蔵

# 探検!?美術館

Exploring Art and the Art Museum

会 期：平成31年2月22日（金）～4月17日（水）

主 催：北海道立旭川美術館

美術作品の表現はもちろん、美術館の空間や展示そのものをテーマに掲げて、来場者を探検にいざなう企画。多彩な美術のおもしろさを味わってもらうとともに、美術館や展示の裏側を知ってもらい、美術館に親しみや興味をもってもらおうというもの。視点を変えて見たり、簡単な造形に取り組んだりする能動的なアプローチを取り込み、子どもから大人まで楽しみながら鑑賞いただいた。当麻町にあるかたるべの森美術館の協力により、知的障害者の作品も展示した。30年度中は33日間で観覧者数1,859人となった。

## ■関連事業

[みんなで探検ツアー]

3月30日（土）31日（日）午後2時～（約30分）

ご案内：関口千代絵（学芸員）

会場：第1展示室

参加者数：32人、30人

（自由参加、聴講無料）

[子どもも大人も楽しむリコーダー・ミニコンサート]

3月2日（土）午前11時～（約30分）

出演：リコーダーアンサンブル・イコロ

会場：ロビー

参加者数：71人

（参加無料）

[教員のための鑑賞研修]

3月2日（土）午後14時～15時

講師：関口千代絵（学芸員）

会場：講堂、第1展示室

参加者数：16人

（募集制、参加無料）

### [オリエンテーション]

(希望団体対象の解説、予約制、無料)

講師：学芸員

会場：講堂

実施回数：3回

参加者数：49人

### ■主な新聞記事等

北海道新聞 1/22(社告) 2/23 3/3 3/5(夕)

北海道通信 2/28

### ■広報印刷物

ポスター：B2 縦、OK トップコートマット N 135 kg、片面カラー、1,400 枚

チラシ：A4 縦、OK トップコートマット N 90 kg、両面カラー、20,000 枚

観覧券：(招待券) 縦 160×横 65mm、(一般券) 縦 140×横 60mm、OK トップコートマット N 90 kg、片面カラー、8,700 枚

デザイン：アトリエペチカ

製作：株式会社須田製版旭川支社

## 探検!?美術館 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	材質
1	鹿目 尚志	はこの奥はこの奥	1987(昭和62)	彩色・タモ<黒塗装拭きとり仕上げ>
2	臼田 健二	木の葉のボウル	2001(平成13)デザイン／2008(平成20)制作	クルミ、カエデ
3	臼田 健二	木の葉のボウル	2001(平成13)デザイン／2008(平成21)制作	クルミ、カエデ
4	臼田 健二	木の葉のボウル	2001(平成13)デザイン／2008(平成22)制作	クルミ、カエデ
5	近江 栄蔵	きりため (切溜)	1981(昭和56)	スギ
6	三沢 厚彦	Animal 2001-24	2001(平成13)	グワッシュ、鉛筆・紙
7	三沢 厚彦	Drawing 2000	2000(平成12)	油彩・紙
8	三沢 厚彦	Drawing 2000	2000(平成12)	油彩・紙
9	三沢 厚彦	Animal 2001-01	2001(平成13)	クス、油彩
10	米坂 ヒデノリ	旅立ち	1976(昭和51)	オンコ、カツラ、シナ
11	米坂 ヒデノリ	間道を行け	1975(昭和50)	カツラ、クス
12	三沢 厚彦	Animal 2000-02	2000(平成12)	クス、油彩
13	岡沼 淳一	あやふやな空	1991(平成3)	ニレ(埋もれ木)
14	寺田 栄	石走る (いはばしる)	2003(平成15)	白御影石
15	岡沼 淳一	残雪	1995(平成7)	ニレ(埋もれ木)、鉄
16	戸谷 成雄	湿地帯	1989(平成元)	米ツガ、アクリル絵の具
17	戸谷 成雄	森	1990(平成2)	米ツガ、灰、アクリル絵の具
18	大平 實	Santa Ana Wind #5	2001(平成13)	カエデ、シナ、廃材
19	板津 邦夫	風の家	1995(平成7)	ナラ、アクリル絵具
20	深井 隆	逃れゆく思念—青空または瞑想	1991(平成3)	金箔、クス
21	峯田 敏郎	「風と舞う日」のためのデッサン	1986(昭和61)	水彩、鉛筆・紙
22	高橋 北修	海豹島デッサン1	1940(昭和15)	鉛筆・紙
23	高橋 北修	島(樺太 海豹島にて)	1941(昭和16)頃	油彩・キャンバス
24	朝倉 力男	河畔の厳冬	1959(昭和34)	油彩・キャンバス
25	羽生 輝	北の浜辺	1997(平成9)	彩色・板
26	羽生 輝	桂恋にて	2006(平成18)	墨、グワッシュ・紙
27	福井 爽人	白い風	2009(平成21)	紙本彩色
28	小野 州一	丘の風景(冬)	1996(平成8)	油彩・キャンバス
29	小野 州一	バラ色の丘	1997(平成9)	水彩、クレヨン、鉛筆・紙

30	小野 州一	丘の風景	1997(平成9)	油彩・キャンバス
31	神田 一明	静物(A)	1976(昭和51)	油彩・キャンバス
32	山口 健智	小海老の静物	1976(昭和51)	油彩・キャンバス
33	山口 健智	静物一切れた電球	1965(昭和40)	油彩・キャンバス
34	山口 健智	部屋の片隅	1976(昭和51)	油彩・板

#### 特別出品(かたるべの森美術館所蔵)

35	吉田 幸敏	無題	2019(平成31)	色鉛筆・紙
36	吉田 幸敏	無題	2016(平成28)	色鉛筆・紙
37	吉田 幸敏	無題	2006(平成18)	クレヨン・紙
38	吉田 幸敏	無題	2006(平成18)	クレヨン・紙
39	吉田 幸敏	無題	2006(平成18)	クレヨン・紙
40	吉田 幸敏	無題	2006(平成18)	クレヨン・紙
41	吉田 幸敏	無題	2018(平成30)	クレヨン・紙

#### 特別出品(studio BREMEN所蔵)

42	蛭子 陽太	スコティッシュフィールド コムギ	2018(平成30)	アクリル絵具・キャンバス
43	蛭子 陽太	ブルドッグ	2018(平成30)	アクリル絵具・キャンバス
44	蛭子 陽太	アメリカンショートヘアー	2018(平成30)	アクリル絵具・キャンバス

#### 特別出品(作家蔵)

45	菊地 政司	申	2018(平成30)	クレヨン・紙
46	菊地 政司	亥	2018(平成30)	クレヨン、鉛筆・紙
47	菊地 政司	酉	2018(平成30)	クレヨン、鉛筆・紙

## 4-2 所蔵品展

### 姿／Figure — かたちの思惑

Human Figures : Thoughts Expressed in Various Forms

会 期 : 4月26日(木)～11月7日(水)

主 催 : 北海道立旭川美術館

多くの人にとって、人の姿は興味深いもののひとつである。とりわけ、芸術家たちにとって人は最も身近なモチーフであり、絵画や彫刻などさまざまな形で表現されてきた。

本展では、こうした人をモチーフにした芸術表現の魅力を、所蔵する彫刻や絵画のなかから選りすぐり展示した。また、会場では昨年度当館が新たに収集した作品3点も紹介。154日の会期中、8,521の観覧者が多様な人物表現を楽しんだ。

#### ■主な新聞記事等

北海道通信 5/10

美術の窓 6/20(門間仁史による作家作品紹介)

### 感じるアートーイロ・カタチ・ココロ

Feeling the Spirit of Art: Colors, Forms and Intentions

風景画、花鳥画、人物画といった具象的な形から解放された自由な色や形によって作家は、言葉や形にならない「ココロ」を表現した作品を制作する。本展では百瀬寿、矢柳剛などの平面、及び山中晴夫などの工芸など10作家29作品を展覧した。観覧者は平成30年度の88日間で2,590名にのぼった。

会 期 : 11月14日(水)～平成31年4月17日(水)

主 催 : 北海道立旭川美術館

#### ■主な新聞記事等

北海道新聞 11/30 12/5

北海道通信 11/12 11/22

## 姿／Figure — かたちの思惑 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
1	舟越 桂	午後にはガンター・グローヴにいる	1988 (昭和63)	クス、大理石、 アクリル絵具	26.3×19.0
2	舟越 桂	夜は夜に	2003 (平成15)	クス、大理石、 アクリル絵具	40.6×31.6
3	舟越 桂	「夜は夜に」のためのドローイング	2002 (平成14)	鉛筆、紙	33.4×24.3
4	中村昇：デザイン 服部勇二、(株) 匠工芸：制作	君の椅子2017	2017 (平成29)	ミズナラ	38.0×27.5
5	保田井 智之	the place	1995 (平成7)	スプルース、クス、 カシ、ブロンズ	90.7×90.7
6	関 兵衛	大雪山	制作年不詳	油彩、板	80.0×100.0
7	高橋 北修	路傍家族	1975 (昭和50)	油彩、キャンバス	44.0×31.5
8	高橋 三加子	室内	1981 (昭和56)	油彩、キャンバス	21.5×26.5
9	因藤 壽	麦ふみ	1952 (昭和27)	油彩、キャンバス	23.0×35.0
10	中井 延也	ポートレート	1986 (昭和61)	黒御影石	100.0×65.5
11	黒蔵 壮	明日へのとびら	1996 (平成8)	クス、ホオ、鉄	95.0×80.7
12	山口 健智	画家の像 (自画像)	1964 (昭和39)	油彩、キャンバス	65.0×50.0
13	上野山 清貢	パイプをくわえた男 (自画像)	1952 (昭和27)	油彩、キャンバス	127.1×79.2
14	村山 陽一	自画像	昭和20年代	油彩、キャンバス	145.8×112.0
15	杉本 カツヨシ	自画像	1946 (昭和21)	油彩、キャンバス	194.8×130.4
16	楓 久雄	自画像	1947 (昭和22)	油彩、板	73.0×60.7
17	小熊 秀雄	自画像	1938 (昭和13)	油彩、キャンバス	130.0×162.0
18	難波田 龍起	初夏の粧い	1953 (昭和28)	油彩、キャンバス	162.0×130.3
19	山内 壮夫	ソンミの慟哭 II	1972 (昭和47)	強化プラスチック	112.1×162.1
20	本田 明二	けものと男	1981 (昭和56)	木	91.0×116.5
21	三宅 一樹	素脚詞 VII	2003 (平成15)	カヤ、クス	93.0×116.6

## 感じるアートーイロ・カタチ・ココロ 出品目録

1	百瀬 寿	Square-Pink to Yellow	1981(昭和56)	シルクスクリーン・紙	70.0×70.0
2	百瀬 寿	Square-between Pink and Yellow	1981(昭和56)	エアーブラシ、アクリル絵具の具・パネル	140.0×140.0
3	上野 憲男	SHADOW OF HAND	1978(昭和53)	油彩・キャンバス	163.0×163.0
4	上野 憲男	海流	1981(昭和56)	油彩・キャンバス	162.2×162.2
5	村山 陽一	生態	1958(昭和33)	グワッシュ・紙	72.4×53.8
6	村山 陽一	祭りB	1958(昭和33)	グワッシュ・紙	57.0×37.0
7	塩田 慥洲	五風十雨	1971(昭和46)	墨、紙	69.5×138.0
8	鬚 嘸	Rainbow Passes Slowlyよりfrom the Dictionary 1	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.0
9	鬚 嘸	Rainbow Passes Slowlyよりfrom the Dictionary 2	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.0

10	鬩 嘔	Rainbow Passes Slowlyよりfrom the Dictionary 3	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.0
11	鬩 嘔	Rainbow Passes Slowlyよりfrom the Dictionary 4	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.0
12	鬩 嘔	Rainbow Passes Slowlyよりfrom the Dictionary 5	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	79.0×55.0
13	鬩 嘔	Rainbow Passes Slowlyよりfrom the Dictionary 6	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	79.0×55.0
14	鬩 嘔	Rainbow Passes Slowlyよりfrom the Dictionary 7	1971(昭和46)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.0
15	難波田 龍起	風景	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	50.0×60.5
16	矢柳 剛	愛の動物誌Ⅱ (L)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	79.5×55.0
17	矢柳 剛	愛の動物誌Ⅱ (M)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.5
18	矢柳 剛	愛の動物誌Ⅱ (N)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	79.5×55.0
19	矢柳 剛	愛の動物誌Ⅱ (O)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.5
20	矢柳 剛	愛の動物誌Ⅱ (P)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	79.5×55.0
21	矢柳 剛	愛の動物誌Ⅱ (Q)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	79.5×55.0
22	矢柳 剛	愛の動物誌Ⅱ (R)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.5
23	矢柳 剛	愛の動物誌Ⅱ (S)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	79.5×55.0
24	矢柳 剛	愛の動物誌Ⅱ (T)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	55.0×79.5
25	矢柳 剛	愛の動物誌Ⅱ (U)	1973(昭和48)	シルクスクリーン・紙	79.5×55.0
26	山中 晴夫	海の中の音楽会	1987(昭和62)	カバ、サクラ、トチ、ナラ・彩色	50.0×13.0×44.0
27	山下 三郎	楼	1981(昭和56)	スギ・彩色	8.0×21.0×10.5
28	山下 三郎	組閣	1981(昭和56)	スギ・彩色	15.0×7.5×11.0
29	菊池 光典	戯端箱	1992(平成4)	黒檀、カバ、キリ＜ツヤ消しウレタン塗装＞	41.0×33.0×30.0

※寸法は、平面作品では縦×横、立体作品では高さ×幅×奥行、あるいは高さ×径

※作品はすべて北海道立旭川美術館蔵



## 5 教育普及事業

項目毎に、日時または期日、内容、講師、会場、聴講者または参加者数を記した。その他の場合は特記した。

### (1) ワークショップ等

#### ■工作アトリエ

休業期間中の小学生と保護者を対象に工作の機会を設け、子どもたちの美術や美術館への関心を高めるとともに、創作の楽しさを体験してもらった。



#### 夏休み工作アトリエ

7月26日(木)～8月5日(日)午前10時～午後4時

「ガラスに飾って楽しむ！切り紙を作ろう！」

会場：ロビー

参加者数：103人

(自由参加、参加無料)

#### ■ウッディ★工作アトリエ 2019

1月9日(水)午後0時30分～4時30分

「木っ端(こっば)でカラフル!モビールづくり」

講師：丹野ゆり氏(丹野製作所・旭川)、当館学芸員

会場：講堂、第1展示室、第2展示室

参加者数：32人

(募集制、参加料：レクリエーション保険料)

#### ■展覧会関連事業

以下の事業を展覧会に関連して行った。詳細は各頁を参照。



ミュージアム・コンサート (p.13、21)



特別講演会 (p.15)



記念茶会 (p.21)



アーティスト・トーク (p.31)



北海道教育大学旭川校連携ギャラリー・トーク (p. 32)

## (2) 連携事業

### ●学校教育との連携事業

小学校、中学校、大学との連携により、学校教育における美術館の活用促進を図った。

### ■教員のための鑑賞研修

上川管内の小中高等学校ならびに特別支援学校の教員を対象に、学芸員による解説ツアーと鑑賞の機会を設け、児童生徒の鑑賞の推奨に役立ててもらうことをねらった。特別展（「フランス近代絵画と珠玉のラリック」展をのぞく）毎に、1回行った。詳細は各展覧会関連事業の項目を参照。（募集制、参加無料）

計4回 40人

### ■旭川地域連携アートプロジェクト

北海道教育大学旭川校（美術教育）・上川管内と旭川の中学校美術部顧問の教員・美術館（旭川市彫刻美術館、当館）の連携による鑑賞教育とワークショップを行った。

主催：北海道立旭川美術館、上川旭川中学校美術部連携協議会、北海道教育大学旭川校、旭川地域連携アートプロジェクト



### 鑑賞プログラム「魂を削る美が欲しい—魯山人の宇宙」

「魂を削る美が欲しい—魯山人の宇宙」に関わるギャラリー・トーク、ワークショップを実施するとともに、上記展の鑑賞を行った。

5月26日（土）、6月2日（土）、6月9日（土）、6月16日（土）

各日午前10時～12時

会場：講堂、第1展示室、第2展示室、ロビー

スタッフ：北海道教育大学旭川校教授（美術教育）、北海道教育大学旭川校学生ボランティア、上川／旭川の中学校美術部顧問、当館学芸員

参加中学校：旭川市立緑が丘中美術部、明星中美術部、当麻町立当麻中美術部、旭川市立神居東中美術部、旭川市立忠和中美術部、旭川市立永山中美術部、附属旭川中美術部、旭川市立六合中美術部、旭川市立北星中美術部、中央中美術部、北門中美術部、上富良野町立上富良野中美術部、旭川市立東明中美術部、旭川市立東陽中美術部、東川町立東神楽中美術部、富良野市立富良野東中美術部、愛別町立愛別中美術部、旭川市立旭川中美術部、旭川市立啓北中美術部、旭川市立広陵中美術部、士別市立士別南中美術部、東川町立東川中美術部 491人

## ■出張アート教室

所蔵作品の有効利用を図るため、学芸員が学校に作品を持参し、児童・生徒に美術の楽しさを体験できる機会を提供した。



### 「緑を描くー自然を見つめる眼ざしー」

作 品 1：夏の丘

作 者：佐藤道雄

制 作 年：1995 年

作 品 2：夏惜しむ

作 者：高坂和子

制 作 年：1987 年

9 月 26 日（水）

利尻町立利尻中学校 47 人

講 師：門間仁史（主任学芸員）

## ■キャンパス・パートナーシップ

道立美術館・博物館は大学等の教育機関と連携して芸術文化について学ぶ機会を拡充する「北海道立美術館・博物館キャンパス・パートナーシップ」制度を設けている。旭川では北海道教育大学旭川校及び北海道医学技術専門学校が参加した。

利用者数：264 人

## （3）ボランティア活動

昭和 57（1982）年の開館時から、ボランティア常磐会によるボランティア活動が行われている。内容は喫茶「常磐の樹」ならびにミュージアムショップ（常設、特設）の運営。活動員数は約 50 名。

## （4）協力事業

### ■小中学校の総合的な学習への対応

小中学校における総合的な学習のために美術館を活用したいという要請に対応した。

## 6 美術作品の収集

### ■平成30年度の作品収集について

当館は、地域の特色を生かしたコレクションづくりを目標とし、「道北の美術」と「木の造形」を作品収集の大きなテーマとしている。平成30年度は購入予算の措置はなされなかったが、個人所蔵家、作家等から寄贈の申し入れを受け、油彩画、木彫、工芸の作品を計4点収集し、コレクションの充実を図ることができた。

「道北の美術」に関わる作品として、秋田義一の油彩画を初めて収蔵することができたのは、大きな成果だった。秋田は当館で作品を所蔵する高橋北修、関兵衛、小熊秀雄らと関係が深く、旭川画壇の草創期を語る上で重要な作家のひとりである。生年等、不明な点が多く、現存する作品も少ないため、コレクションの貴重な1点となることは間違いない。

「木の造形」では、函館出身で十勝を拠点として活動した岡沼淳一と、現代木彫の旗手のひとりとして注目された神山明の作品が、それぞれ1点ずつ寄贈された。いずれも当館に既蔵の作家だが、今回の収蔵により、これまで以上に多角的な視点から作家／作品を語る事が可能となった点で意義深い。

すでに文化再生のプロジェクトとして全国的に認知されている「君の椅子」は、「道北の美術」と「木の造形」の双方に関わり、当館のコレクションにおいても重要な位置を占める作品群となっている。当館では平成18(2006)年にスタートした同プロジェクトの椅子をすべて所蔵しており、その数は今回で14点目となった。

これらの受贈により、総作品数は700点、資料123点となった。

### ■平成30年度作品収集状況

#### 作品

分野	平成29年度末 作品収蔵数	平成30年度作品収集数			作品総数
		購入	受贈	合計	
油彩	165点 (23.7%)	0	1	1	166点 (23.7%)
日本画	18 (2.6%)	0	0	0	18 (2.6%)
水彩・素描	166 (23.9%)	0	0	0	166 (23.7%)
版画	115 (16.5%)	0	0	0	115 (16.4%)
彫塑	139 (20.0%)	0	2	2	141 (20.1%)
工芸	91 (13.1%)	0	1	1	92 (13.1%)
写真	2 (0.3%)	0	0	0	2 (0.3%)
デザイン	0 (0.0%)	0	0	0	0 (0.0%)
合計	696 (100%)	0	4	4	700 (100%)

注) ( ) 内の数字は、小数点第二位まで求め、四捨五入して記載した。

注) 「平成29年度末作品収蔵数」は平成29年度から平成30年度にかけて行った、作品の分野変更後の数に基づく。

#### 資料作品

分野	平成29年度末 資料作品収蔵数	平成30年度資料作品収集数			資料作品総数
		購入	受贈	合計	
油彩	1	0	0	0	1
日本画	0	0	0	0	0
水彩・素描	110	0	0	0	110
書	1	0	0	0	1
版画	3	0	0	0	3
彫塑	1	0	0	0	1
工芸	1	0	0	0	1
写真	0	0	0	0	0
デザイン	2	0	0	0	2
その他	4	0	0	0	4
合計	123	0	0	0	123

## ■平成30年度作品収集一覧

### 受贈作品一覧

所蔵作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	材質・技法	寸法
2018001	油彩	秋田義一	風景	1922(大正11)	油彩、キャンバス	縦45.5×横52.7cm
2018002	彫塑	岡沼淳一	六月の翳	2004(平成16)	ニレ(埋もれ木)、ナラ(埋もれ木)	高さ57.0×幅220.0×奥行60.0cm
2018003	彫塑	神山明	風の時代	1990(平成2)	スギ、オイルステン	高さ125.0×幅176.0×奥行50.0cm
2018004	工芸	デザイン／川上元美 製作／服部勇二、 株式会社匠工芸	君の椅子2018	2018(平成30)	ミズナラ	高さ31.0×幅35.0×奥行46.0cm

## 作品目録

### 凡例

1. この目録には、平成30年4月1日から平成31年3月31日までに、北海道立旭川美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は作家名によって次の通り分類した。  
木の造形／道北の美術／北海道の美術／国内・海外の美術
3. 作家名は、各分類ごとに50音順に配列した。
4. データ記載事項のうち、該当事項のないものは表記を省略した。
5. 寸法は、センチメートルを単位とし、立体作品は高さ×幅×奥行の順に記載した。

### ■道北の美術 Art of Northern Hokkaido

作家名	生没年	作品名	制作年	材質・技法	寸法	収集の経緯	所蔵番号
1 秋田義一 AKITA Giichi	不詳～ 1933(昭和8)	風景 Landscape	1922 (大正11)	油彩、キャンバス	45.5× 52.7	新明英仁氏より受贈	2018001

### ■木の造形 Art in Wood

作家名	生没年	作品名	制作年	材質・技法	寸法	収集の経緯	所蔵番号
1 岡沼淳一 OKANUMA Junichi	1944(昭和19) ～2019(平成31)	六月の翳 June's Shadow	2004 (平成16)	ニレ(埋もれ木)、ナラ(埋もれ木)	57.0× 220.0× 60.0	岡沼淳一氏より受贈	2018002
2 神山明 KAMIYAMA Akira	1953(昭和28) ～2012(平成24)	風の時代 The Age of Wind	1990 (平成2)	スギ、オイルステン	125.0× 176.0× 50.0	新明英仁氏より受贈	2018003
3 デザイン／川上元美 制作／服部勇二、 株式会社匠工芸 Designed by KAWAKAMI Motomi Made by HATTORI Yuji, TAKUMI KOHGEI Co., Ltd.	川上／ 1940(昭和15) ～ 服部／ 1955(昭和30)～ 匠工芸／ 1979(昭和54)～	君の椅子2018 A Chair Just for You 2018: On- going Project to Make Chairs for Newborns	2018 (平成30)	ミズナラ	31.0× 35.0× 46.0	平成29年度君の椅子プロジェクトより受贈 (平成29年度)	2018004

## 7 美術作品の修復・貸出

### 美術作品の修復

◇

修復者：遠藤覚（木工家）

修復期間：平成31年3月26日（火）

分野：彫塑

作者名：砂澤ビッキ

作品名：《鳥の巣（椅子）》

制作年：1980（昭和55）年

寸法（高さ×幅×奥行）：186.0×97.0×73.0cm

材質・技法：カツラ、タモ

所蔵番号：2017004

事前調査：

- 修復前後の作品状況をデジタルカメラで撮影した。
- 作品の状態を精査し、簡易調査書に記録した。

問題点：

- 作品の台座部分と柱部分が木ネジによって接合されており、組み付け／分解時ごとに木ネジの抜き刺しが必要な状態だった。そのため接合部の損傷が著しく、作品の長期的な活用が困難と考えられた。

処置：

- 台座部分を加工しアジャスターベースを埋め込み、接合方法をボルトの使用に見直した。
- 金属部品を使用することで、組み付け／分解時における作品への負担が軽減された。

## 美術作品の貸出

貸出先、作家・作品名、貸出期間、目的（会場）の順に記載した。

### ふくやま美術館

あべ弘士《エゾオオカミ物語》（17点中14点）

平成31年2月28日（木）～令和元年6月20日（木）

特別展「あべ弘士の絵本と美術」展出品（ふくやま美術館）



## 8 資料・情報

### 図書資料の収集

内訳	分類	平成29年度末	平成30年度	計
図書	A00	117	0	117
	A01	60	0	60
	A02	365	1 (1)	366
	A03	187	0	187
	A04	64	0	64
	A05	141	3 (2)	144
	A06	267	0	267
	A07	42	0	42
	A08	1,420	0	1,420
	A09	99	0	99
	A10	329	3 (1)	332
	A20	1,354	5 (3)	1,359
	A30	227	0	227
	A40	174	0	174
	A50	351	3 (1)	354
	A60	509	3 (1)	512
	000～900	709	2 (2)	711
	E	478	1 (1)	479
	CD	45	0	45
	DVD	15	0	15
VHS	4	0	4	
小計		6,957	21 (12)	6,978
資料[図録・古書雑誌等]		25,774	475 (442)	26,249
合計		32,731	496 (454)	33,227

\* ( ) 内は寄贈図書

### 図書分類表

分類記号	内容
A00	美術一般
A01	美術理論
A02	美術史
A03	書誌・辞典・便覧・名簿
A04	論文・講演集・美術評論
A05	年鑑
A06	美術館博物館・博物館学・保存修復
A07	美術教育
A08	美術全般の全集・叢書
A09	文化財・国宝
A10	彫刻・立体一般、日本彫刻・立体、東洋彫刻・立体、西洋彫刻・立体、彫刻・立体の材料・技法
A20	絵画一般、日本絵画、東洋絵画、西洋絵画、絵画の材料・技法、書蹟
A30	版画一般、日本版画、東洋版画、西洋版画、版画の材料・技法
A40	映像一般、映画、写真、映像機械・技法
A50	工芸一般、陶磁、ガラス、染織、木・漆工、金工(刀剣・鉄砲)、その他の工芸
A60	デザイン一般、グラフィックデザイン、インテリアデザイン、建築、その他のデザイン
000～900	一般図書(総記、哲学、歴史、社会科学、自然科学、技術・工学・工業、産業、芸術、言語、文学)
E	絵本
CD	CD-ROM
DVD	DVD
VHS	VHS

## 図書閲覧・刊行物

### ■図書閲覧

ロビーの図書コーナーに、開催中の展覧会に関連した書籍や図録等を配架し、閲覧に供した。その他の図書の閲覧希望や美術に関する質問には、随時対応した。

### ■刊行物

[平成 31 年度ミュージアムカレンダー(事業案内)]

縦 21.5×横 37.0 cm 四つ折り

OK マットコートグリーン 100 110 kg

両面カラー4色 70,000 部 平成 31 年 3 月発行

デザイン：三善俊彦

製 作：株式会社須田製版旭川支社



[平成 29 年度年報]

\*当館ホームページにおいて公開



[旭川美術館だより『氷華』(No. 61)]

A4 縦 8 頁 (カラー4 頁、モノクロ 4 頁) ミューマット 90 kg

1,200 部 平成 31 年 3 月発行

製 作：株式会社須田製版旭川支社

内 容：

展覧会報告「NATURE & ART 木をめぐる美術」／門間仁史(学芸員)

ギャラリートーク抄録 1 砂澤涼子氏(砂澤ビッキ夫人) 聞き手：門間仁史(学芸員)

講演抄録 2 「音威子府と砂澤ビッキ」河上實氏(エコミュージアムおさしまセンター名誉館長)

道北の美術 26 百瀬寿氏／関口千代絵(学芸員)

收藏品から 関兵衛(大雪山)／佐藤由美加(学芸課長)

常磐通信 梶浦仁(館長)

\*上記はすべて当館編集・発行。

\*展覧会関係の広報印刷物、図録等については、各展覧会の頁を参照。

### ■特別観覧

当館所蔵の作品等や写真資料について、印刷物への掲載やインターネット上の公開を目的とした写真や画像データの借用希望、所蔵作品の熟覧、所蔵品展の会場撮影があった場合に、特別観覧として対応した。

平成 30 年度は 5 件の特別観覧があった。

## ■ データベース

平成 29 年度までの収蔵作品ならびに資料作品について、データベース化を完了した。

## ■ インターネット上の情報提供

当館ホームページおよびツイッターにおいて、展覧会や教育普及事業等に関する情報を随時更新しながら提供した。(ホームページ <http://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/abj/top.htm>、ツイッター <https://twitter.com>)

また、データベースのデジタルデータをもとに、「北海道デジタル図鑑」のサイトにて当館収蔵品から 81 点の画像と基本データを公開した。

## 9 平成30年度利用者数一覧等

### (1) 平成30年度 観覧者数一覧

展覧会名	開催要項 (開催日数)	観覧者数 (一日平均)	有料									無料 免除 招待
			個人①				団体②/前売③				小計 ①+②+③	
			一般	高大生	小中生	計	一般	高大生	小中生	計		
アート・クイズ・ギャラリー	4/1～ 4/15 ( 13 日)	739 ( 57 人)	268	9	/	277	46	1	/	47	324	415
魂を割(えぐ)る美が欲しい 魯山人の宇宙	4/26～ 7/1 ( 58 日)	7,002 ( 121 人)	3,438	54	15	3,507	1,166	110	55	1,331	4,838	2,164
ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラ リック展	7/12～ 9/2 ( 47 日)	11,681 ( 249 人)	4,474	130	9	4,613	3,680	322	101	4,103	8,716	2,965
特別展 描かれた女たち 女性像にみるフォルム/現実/ 夢	9/13～ 11/7 49 日)	7,003 ( 143 人)	2,178	45	/	2,223	3,128	47	/	3,175	5,398	1,605
北海道150年事業/アートギャラ リー北海道 NATURE&ART 木をめぐる 美術	11/14～ 1/14 ( 49 日)	2,287 ( 47 人)	750	26	9	785	305	89	67	461	1,246	1,041
探検！？美術館	2/22～ 3/31 ( 33 日)	1,859 ( 56 人)	505	34	/	539	98	30	/	128	667	1,192
小計	6 回 ( 249 日)	30,571 ( 123 人)	11,613	298	33	11,944	8,423	599	223	9,245	21,189	9,382
所蔵品展 HOKKAIDO 北の美術セレクション	4/1～ 4/15 ( 13 日)	323 ( 25 人)	95	7	/	102	18	0	/	18	120	203
姿/ Figure -かたちの思惑	4/26～ 11/7 ( 154 日)	8,521 ( 55 人)	1,671	105	/	1,776	343	57	/	400	2,176	6,345
感じるアート -イロ・カタチ・ココロ	11/14～ 3/31 ( 88 日)	2,590 ( 29 人)	598	44	/	642	109	121	/	230	872	1,718
小計	3 回 ( 255 日)	11,434 ( 45 人)	2,364	156	/	2,520	470	178	/	648	3,168	8,266
貸 館 毎日書道展第70回記念 毎日現代書巡回展	1/19～ 1/25 ( 6 日)	933 ( 156 人)	102	0	/	102	9	0	/	9	111	822
小計	1 回 ( 6 日)	933 ( 156 人)	102	0	/	102	9	0	/	9	111	822
合 計	10 回 ( 510 日)	42,938 ( 84 人)	14,079	454	33	14,566	8,902	777	223	9,902	24,468	18,470

※ 観覧者数(内訳)のうち、斜線欄の人数は、「無料(免除・招待)」に含む(内数)

## (2) 平成30年度 教育普及事業実施状況

### ◆講演会等

展覧会名	タイトル・内容等	開催日	場所	講師名等	人数
魂を割る美が欲しい 魯山人の宇宙	「北大路魯山人・入門講座」	① 5月5日(土)	講堂	講師/ 門間仁史(学芸員)	① 42
		② 5月26日(土)			② 19
ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック	美術講座「フランス近代美術 の魅力 アカデミズムからエ コールド・パリへ」	① 7月28日(土)	講堂	講師/ 関口千代絵(学芸員)	① 32
		② 8月4日(土)			② 25
描かれた女たち 女性像にみるフォルム/現実/夢	美術講座「アートの中の女た ち」	10月6日(土)	講堂	講師/ 佐藤由美加(学芸課長)	15
NATURE&ART 木をめぐる美術	「音威子府と砂澤ビッキ」	11月25日(土)	講堂	講師/ 河上寛氏 (エコミュージアムおさしまセンター 名誉館長)	43
小計					176

### ◆解説等

関連展覧会	タイトル・内容等	開催日	場所	講師名等	人数
魂を割る美が欲しい 魯山人の宇宙	30分でわかる!見どころ解説	① 4月28日(土)	講堂	講師/ ①関口千代絵(学芸員) ②関口千代絵(学芸員) ③関口千代絵(学芸員) ④門間仁史(学芸員)	① 45
		② 5月12日(土)			② 21
		③ 6月9日(土)			③ 30
		④ 6月23日(土)			④ 11
ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック	30分でわかる!見どころ解説	① 7月14日(土)	講堂	講師/ 門間仁史(学芸員)	① 20
		② 8月25日(土)			② 25
描かれた女たち 女性像にみるフォルム/現実/夢	ギャラリー・ツアー	① 9月15日(土)	第1展示室	講師/ 佐藤由美加(学芸課長)	① 14
		② 10月27日(土)			② 55
NATURE&ART 木をめぐる美術	新春ギャラリートーク	1月5日(土)	第1展示室	講師/ 門間仁史(学芸員)	6
小計					227

### ◆オリエンテーション

	内容	開催日	会場	講師名	人数等
団体オリエンテーション	予約団体への展覧会解説	特別展等の 開催期間	講堂	講師/ 各展覧会担当学芸員	22件 510人

### ◆ワークショップ等

事業名	タイトル・内容等	開催日	場所	講師名等	人数
夏休み工作市場	ガラスに飾って楽しむ!切り 紙を作ろう!	7月26日(木) ~8月5日(日)	ロビー	講師なし	103
ウッディ★工作アトリエ	木っ端(こっぱ)でカラフル! モバイルづくり	1月9日(水)	講堂、 第1展示室 第2展示室 ロビー	講師/ 丹野ゆり氏(丹野製作所・旭川)、学芸員	32
小計					135

### ◆特別イベント

関連展覧会	タイトル・内容等	開催日	場所	講師名等	人数
ユニマットコレクション フランス近代絵画と珠玉のラリック	ミュージアム・コンサート	7月21日(土)	ロビー	出演/ 大平まゆみ氏 (札幌交響楽団コンサートマスター)	130

	オープニング記念ギャラ リー・ツアー	9月3日(土)	第1展示室	講師/ 長谷川徳七氏、智恵子氏 (日動画廊社長、副社長)	51
描かれた女たち 女性像にみるフォルム/現実/夢	ミュージアム・コンサート マンドリンとギターのひとつと き	① 9月22日(土)	ロビー	出演/ 高瀬善朗氏、安田敏宏氏	85
		② 10月14日(日)			141
		③ 11月3日(土)			198
	記念茶会	9月29日(土)	ロビー	担当/ 表千家同門会旭川支部・旭川地区青 年部	260
	マダムケロコのトーク・ショー	① 10月2日(火)	第1展示室	講師/ マダムケロコ氏(FMリベールパー ソナリティ) 佐藤由美加(学芸課長)	① 35
		② 11月2日(金)			② 56
NATURE&ART 木をめぐる美術	オープニング記念ギャラ リー・ツアー	11月14日(水)	第1展示室	講師/ 砂澤涼子(砂澤ピッキ夫人) 門間仁史(当館学芸員)	45
小計					1,001

## ◆学校教育との連携・協力事業

事業名等	タイトル・内容等	開催日	場所	講師名等	人数等
出張アート教室	「緑を描く －自然を見つめる眼ざしー」	9月26日(水)	利尻町立利尻 中学校	講師/ 門間仁史(主任学芸員)	47
旭川地域連携アートプロジェクト鑑賞プログラム	「魂を割る美が欲しい 魯山人の宇宙」	① 5月26日(土)	講堂、 第1展示室、 第2展示室、 ロビー	主催/ 北海道立旭川美術館 上川旭川中学校美術部連携協議会 北海道教育大学旭川校 旭川地域連携アートプロジェクト	① 156
		② 6月2日(土)			② 114
		③ 6月9日(土)			③ 115
		④ 6月16日(土)			④ 106
教員のための鑑賞研修	①「魯山人の宇宙」 ②「描かれた女たち」 ③「NATURE & ART」 ④「探検!?美術館」	① 4月28日(土)	講堂	講師/ ①関口千代絵(学芸員) ②佐藤由美加(学芸課長) ③門間仁史(学芸員) ④関口千代絵(学芸員)	① 13
		② 9月29日(土)			② 4
		③ 11月12日(土)			③ 7
		④ 2月4日(土)			④ 16
博物館実習	学芸員資格取得課程を開講している大学からの依頼により、5日間のカリキュラムで美術館における実務実習を受け入れる。	7月24日(火) ～7月31日(火) (7月28日、 30日を除く)	展示室、 収蔵庫、 ロビー他	講師/ 当館職員	北海道教育 大学岩見沢校 1名
北海道有朋高等学校授業	「芸術鑑賞」	7月1日(日)	講堂	講師/ 門間仁史(学芸員)	北海道有朋 高等学校 17人
平成28年度北海道高等学校文化連盟 上川支部美術展研究大会	「フランス近代絵画と珠玉の ラリック」	8月30日(木)	旭川市民会館、 第1展示室	講師/ 門間仁史(学芸員)	高文連 228人
北海道教育大学附属旭川中学校 職場体験	学校からの依頼により、職場 体験学習として美術館での業 務を希望する生徒を受け入れ る。	8月30日(木)	講堂、 展示室、 ロビー他	対応/ 当館職員	附属旭川 中学校 2人
北海道士別翔雲高等学校職場体 験	学校からの依頼により、職場 体験学習として美術館での業 務を希望する生徒を受け入れ る。	9月26日(水)	講堂、 展示室、 ロビー他	対応/ 当館職員	士別翔雲 高等学校 1人

小計 951

## ■平成30年度事業利用者数一覧

事業名	回数	利用者数
講演会等	6	176
解説等	8	227
オリエンテーション	22	510
ワークショップ等	2	135
特別イベント	12	1,001
学校連携・協力事業	14	951
合計	64	3,000

平成30年度予算

(3)【平成30年度予算額】

(単位:千円)

教育総務費		440
	美術館協議会運営費	336
	事務局運営費	104
社会教育費		118,365
	展覧会事業費	15,943
	直接支払分	10,443
	負担金	5,500
	教育普及活動費	154
	調査研究資料収集費	145
	親子ふれあい芸術体験事業費	78
	維持運営費	101,377
	運営費	668
合計		118,805

【北海道立旭川美術館協議会委員名簿】(平成31年3月31日現在)

区分	氏名	性別	所属団体等	新任・再任の別
学校教育関係者	小野田 倫 久	男	幌加内町教育委員会	新任
	鎌 田 優 子	女	旭川市立日章小学校	新任
	◎ 佐 藤 保	男	上川教育研修センター	新任
社会教育関係者	星 秀 隆	男	上川管内社会教育委員連絡協議会	再任
	新 居 由紀子	女	旭川美術館ボランティア常磐会	新任
	土 田 拓 美	女	朔北美術協会	再任
	佐 藤 圭	男	写真家	新任
学識経験者	○ 大 石 朋 生	男	北海道教育大学	新任
	山 本 進	男	東神楽町	再任
家庭教育向上活動者	本 間 公 浩	男	旭川市PTA連合会	新任
公募	秋 葉 美 香	女	公募	新任
	舩 田 諭 希	女	公募	新任

◎会長 ○副会長 任期:平成30年6月10日から令和2年6月9日まで

【北海道立旭川美術館職員名簿】(平成30年10月1日現在)

職名	氏名	発令年月日
館長(非常勤)	梶 浦 仁	平成30年4月1日
副館長兼総務課長	大 林 盟	平成30年4月1日
主査	山 根 祐 俊	平成29年4月1日
主事	宮 崎 春 花	平成30年4月1日
学芸課長	佐 藤 由美加	平成30年4月1日
学芸員	門 間 仁 史	平成30年4月1日
学芸員	関 口 千代絵	平成30年10月1日
主事(非常勤)	野 澤 陽 子	平成元年4月1日
主事(非常勤)	成 田 孝 子	平成4年11月1日
主事(非常勤)	佐 野 裕 美	平成10年4月1日
主事(非常勤)	上 野 由記子	平成12年4月1日



## (4) 沿革

- 1977(昭和52)年 7月 北海道発展計画(昭和53～62年)で公立美術館設置計画を策定
- 1979(昭和54)年 7月 道立地方美術館設置調査費を計上、道立地方美術館建設検討会発足  
9月 道立地方美術館設置専門家会議発足  
10月 北海道文化振興審議会に道立地方美術館設置構想を報告  
11月 道立地方美術館設置基本構想を策定、第1号館を旭川市に内定
- 1980(昭和55)年 3月 道立旭川美術館(仮称)設計、建築費を計上  
6月 道立旭川美術館(仮称)建築基本設計完了  
8月 道立旭川美術館(仮称)建築実施設計完了  
10月 道立旭川美術館(仮称)工事着工(10/17)
- 1981(昭和56)年 12月 道立旭川美術館(仮称)工事竣工(12/7 2,558㎡)
- 1982(昭和57)年 4月 北海道立美術館条例の一部改正(4/5 条例第17号)により、「北海道立旭川美術館」を設置  
初代館長 秋山操  
7月 美術館落成式・開館記念式典、一般公開(7/24)
- 1987(昭和62)年 6月 2代目館長 磯部保  
7月 開館5周年記念(7/24)
- 1990(平成2)年 3月 第2収蔵庫増築工事竣工(154㎡)  
9月 観覧者50万人(9/20)
- 1992(平成4)年 4月 3代目館長 高橋洋  
11月 常設展示室工事竣工(241㎡)  
開館10周年記念式典、常設展示室落成式、常設展示室一般公開(11/13)
- 1996(平成8)年 4月 4代目館長 飯島修  
所蔵品展及び常設展の小・中・高校生の無料化実施
- 1998(平成10)年 8月 観覧者100万人達成(8/12)
- 2000(平成12)年 4月 5代目館長 佐藤武
- 2002(平成14)年 10月 開館20周年記念式典(10/26)
- 2004(平成16)年 4月 所蔵品展及び常設展の高校生有料化、ただし土曜日並びにこどもの日及び文化の日は無料
- 2006(平成18)年 4月 6代目館長 金丸浩一  
7月 観覧者150万人達成(7/28)
- 2012(平成24)年 4月 7代目館長 菅沼肇  
11月 観覧者250万人達成(11/2)  
開館30周年記念式典(11/16)
- 2018(平成30)年 4月 8代目館長 梶浦仁

## (5) 建築設備概要

### ■建築概要

位 置	旭川市常磐公園内		
基 本 設 計	田上+北海道日建、建設共同企業体		
実 施 設 計	田上+北海道日建、建設共同企業体		
工 事 施 工	伊藤・盛永共同企業体		
総 工 費	12億6千162万9千円		
工 期	起工	昭和55年10月17日	
	竣工	昭和56年12月7日	
敷 地 面 積	4,320㎡		
建 築 面 積	3,127㎡		
構 造 概 要	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造)		
仕 上	外装:	外装 磁器タイル (3丁掛) 張り	
		屋上 アスファルト防水のコンクリート コテ押工	
	内装:	床 磁器質タイル張り及び塩ビタイル張り (展示室 ゴムタイル張り)	
		壁 磁器タイル (ボード) 張り、軽量鉄骨下地、石コウ ボードクロス張り	
		天井 岩綿吸音板張り (A E P)	

### ■設備概要

[電気設備]		[機械設備]	
受 変 電 設 備	受電電圧 6KV 変圧器容量 450KVA	空 気 調 和 設 備	展示室 夏 24℃±1℃ 55%±3% 冬 23℃±1℃ 55%±3%
発 電 設 備	ディーゼル機関 59PS 3,000rpm 発電機 43KVA 3相交流	収 蔵 庫 及 び 展 示 ケ ー ス 内	年間22℃±1℃ 55%±3%
常 設 展 示 室	ディーゼル機関 42PS 3,000rpm 発電機 30KVA 3相交流	吸 収 式 冷 凍 機	冷/302,720Kcal/hr 暖/252,840Kcal/hr
動 力 設 備	消防用電力 排煙機18.5KW1台 消化ポンプ7.5KW1台	チ ラ ー 冷 凍 機	冷房専用時
	一般用電力 合計233.1KW47台		冷/104,500kcal/hr
常 設 展 示 室	消防用電力 排煙機7.5KW1台		冷暖房時
	一般用電力 合計286.35KW62台		冷/91,200kcal/hr
電 灯 設 備	特別展示室 直管LEDランプ 高演色形 Ra95 4,000ケルビン		暖/12,500kcal/hr
	ロビー 埋込形LEDダウンライト Ra85 3,000ケルビン	チ ラ ー 冷 凍 機	95,000~106,000kcal/hr
	常設展示室 直管LEDランプ 高演色形 Ra95 4,000ケルビン	冷 房 専 用 ( 空 冷 式 )	
	講堂 埋込形蛍光灯器具 200~400ルクス	低 圧 蒸 気 ボ イ ラ ー	643,000kcal/hr
電 話 設 備	卸電話機 自動式	空 気 調 和 器	特別展示室 1系統 常設展示室 1系統 第1収蔵庫 1系統 第2収蔵庫 1系統 展示ケース 1系統 講堂 1系統 ロビーホール 1系統
放 送 設 備	壁掛形防災アンプ 120W	給 水 設 備	市水道使用 (飲用水、雑用水、消火用水)
テ レ ビ 共 聴 設 備	U. Vアンテナ各1組、ユニット5個	消 火 設 備	屋内消火栓11ヵ所 ハロンガス消火設備 (特別展示室、常設展示室 展示ケース、第1収蔵庫、第1収蔵庫前室、第2 収蔵庫)
火 災 報 知 設 備	P1級複合盤 40回路		
視 聴 覚 設 備	16mm映写設備 一式 スライド映写設備 (テープ同調機構付) 一式 ビデオプロジェクター 一式 VTR編集設備 一式 スライドボックス 一式		

## (6) 利用案内

### ■開館時間

9:30～17:00(入場は 16:30 まで)

### ■休館日

月曜日(祝日または振替休日の時は開館、翌火曜日が休館)、年末年始(12月29日～1月3日)、展示替期間等。

### ■アクセス

徒 歩：JR 旭川駅から約 20 分。

バ ス：JR 旭川駅北側の 1 条通の 14 番バス停（1 条 8 丁目）から、3・13・23・24・33・35 番のバスに乗車。もよりのバス停は「4 条 4 丁目」（3・33・35 番）、徒歩 5 分。または「8 条西 1 丁目」（13・23・24 番）、徒歩 3 分。また、「常磐公園前」を経由するバスもご利用いただけます。バス停から徒歩 7 分。

タクシー：JR 旭川駅前から約 10 分。

駐 車 場：常磐公園駐車場(市営／無料／9:00～17:00)がご利用いただけますが、台数に限りがあります。